

第7期総合計画

市民意識調査

結果報告書

..... 市民



令和元年8月
北海道砂川市

目次

1 調査の概要

1)	調査の目的	3
2)	調査の方法	3
3)	調査内容	3
4)	回収状況	4
5)	集計・表記方法	4

2 設問別調査結果

問1	回答者の属性	6
問2	砂川市のイメージ	10
問3	砂川市の住み心地	12
問4	砂川市への愛着	13
問5-1	今後の居留意向	14
問5-2	定住阻害要因	16
問6	土地利用について	18
問7	まちづくりの満足度・重要度	20
問8	まちの景観の満足度	24
問9	まちの緑について	26
問10-1	公園利用について	27
問10-2	公園利用の目的について	28
問10-3	公園を利用しない理由	29
問11	人口減少への対応について	30
問12	少子化への対応について	31
問13	高齢化への対応について	33
問14	砂川市の将来像	35
問15	産業の振興について	38
問16-1	中心市街地活性化について	39
問16-2	中心市街地訪問理由	41
問17	道路・交通について	42
問18	砂川市がめざす まちの姿	43
問19	市民参加の考え方	43
問20	市民参加の現状	45
問21	まちづくりへの意見、提案	46

1. 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、「砂川市第7期総合計画」を策定するにあたり、市民の皆さんがまちの現状をどのように認識しているのか、また、将来どのようなまちになることや、どのような暮らしを望んでいるのかについて、市民の意識や考え方を把握し、新しいまちづくりの計画の基礎資料とするために実施した。

2) 調査の方法

- ①調査対象 令和元年5月1日現在、砂川市に居住する満18歳以上の市民の中から、18歳以上人口（14,939人）の約1割である1,500人を対象とした。
- ②抽出方法 1,500人の抽出にあたっては、令和元年5月1日現在の住民基本台帳登録者から年代別人口構成比に応じた割当数を無作為抽出した。

抽出内訳

年 代	抽出数（比例割当）	男性	女性
20歳代（18～19歳含む）	161	83	78
30歳代	151	78	73
40歳代	207	102	105
50歳代	211	101	110
60歳代	268	126	142
70歳以上	502	201	301
計	1,500	691	809

- ③調査方法 郵送による配布・回収
- ④調査期間 令和元年6月14日（金）～7月12日（金）
（最終締め切り7月16日）

3) 調査内容

- ・回答者の属性
- ・砂川市のイメージ
- ・砂川市の住み心地
- ・砂川市への愛着
- ・定住意向／阻害要因
- ・土地利用
- ・まちづくりの満足度・重要度
- ・景観、緑化・公園
- ・社会問題への対応（人口減少、少子化、高齢化）
- ・砂川市の将来像
- ・産業について
- ・中心市街地について

- ・道路・交通について
- ・砂川市がめざす まちの姿（自由回答・別冊）
- ・市民参加・地域活動について
- ・今後の砂川市のまちづくりに対する提案や意見（自由回答・別冊）

4) 回収状況

- ①配布数 1,500 通
- ②回収数 598 通
- ③回収率 39.9%

※参考（平成 28 年度調査結果）

- 配布数 1,540 通
- 回収数 627 通
- 回収率 40.7%

5) 集計・表記方法

◎構成比の示し方

複数回答の設問などで、構成比を示す場合は、各設問の無回答者を除いた実回答者数をもとに、それぞれの項目に占める割合を表示している。

◎構成比の合計

各集計値の構成比は小数点第二位を四捨五入しているため、その合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答における回答率は 100%を超える場合がある。

◎年齢及び住所地に関する集計方法

下記については回答数が少ないため、統計上の数値として利用できないことから、合算した。

・年齢

20 歳未満(5 人)、20 歳代(28 人)を合算し、「30 歳未満」とした。

・住所地

- ① 空知太(23 人)、空知太東(72 人)、空知太西(32 人)を合わせて「空知太地区」とした。
- ② 富平(2 人)、豊沼町(6 人)、東豊沼(1 人)、西豊沼(3 人)、日の出(1 人)、北光(21 人)、一の沢(2 人)、焼山(2 人)、鶉(1 人)、宮城の沢(1 人)を合わせて「農村地区」とした。
- ③ 東 1~4 条北 10~22 丁目(2 人)、西 1~7 条北 10~24 丁目(34 人)を合わせて「東西 北 10~24 丁目地区」とした。
- ④ 東 1~6 条北 1~9 丁目(14 人)、東 1~7 条南 1~11 丁目(55 人)、三砂町(26 人)を合わせて「東中心市街地区」とした。
- ⑤ 西 1~8 条北 1~9 丁目(53 人)、西 1~7 条南 1~11 丁目(39 人)を合わせて「西中心市街地区」とした。
- ⑥ 北吉野町(10 人)、南吉野町(9 人)、吉野北条丁目(6 人)、吉野南条丁目(81 人)、晴見(19 人)を合わせて「吉野・晴見地区」とした。
- ⑦ 東 1~6 条南 12~22 丁目(28 人)、西 1~7 条南 12~22 丁目(40 人)を合わせて「東西 南 12~22 丁目地区」とした。

◎平成 28 年度に実施したアンケート調査結果との比較について

平成 28 年度に第 6 期総合計画の中間評価として「市民意識調査」を実施しており、必要な部分において今回調査との比較を行った。

◎本文、グラフ及び表の選択肢の文言

実際の調査書の文言を省略している場合がある。

◎問 7 まちづくりの満足度と重要度について

各施策における満足度と重要度は、回答した項目ごとに以下のようなポイントを付け、回答者数で除した平均値を求めて表すこととした。

項 目	ポイント
満足	5
やや満足	4
どちらとも言えない	3
やや不満	2
不満	1

項 目	ポイント
重要	5
やや重要	4
どちらとも言えない	3
あまり重要ではない	2
重要ではない	1

上記の結果から、縦軸に重要度、横軸に満足度をあらわした座標に 61 項目をポイントごとに配置し、散布図とした。

◎「その他」欄の記載について

各設問において「その他」欄を設けてあり、具体的に記載があるものについては原文を掲載し、質問の趣旨にそぐわないもの等については一部掲載していないものがある。

また、文章をわかりやすくするため、趣意を損なわない程度に補足や誤字訂正などを行っている場合がある。

◎問 18 砂川市がめざす まちの姿（自由回答）について

問 18 については自由回答のため、別途とりまとめることとし、別冊①として報告することとした。

◎問 21 今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見など（自由回答）について

問 21 については自由回答のため、別途とりまとめることとし、別冊②として報告することとした。

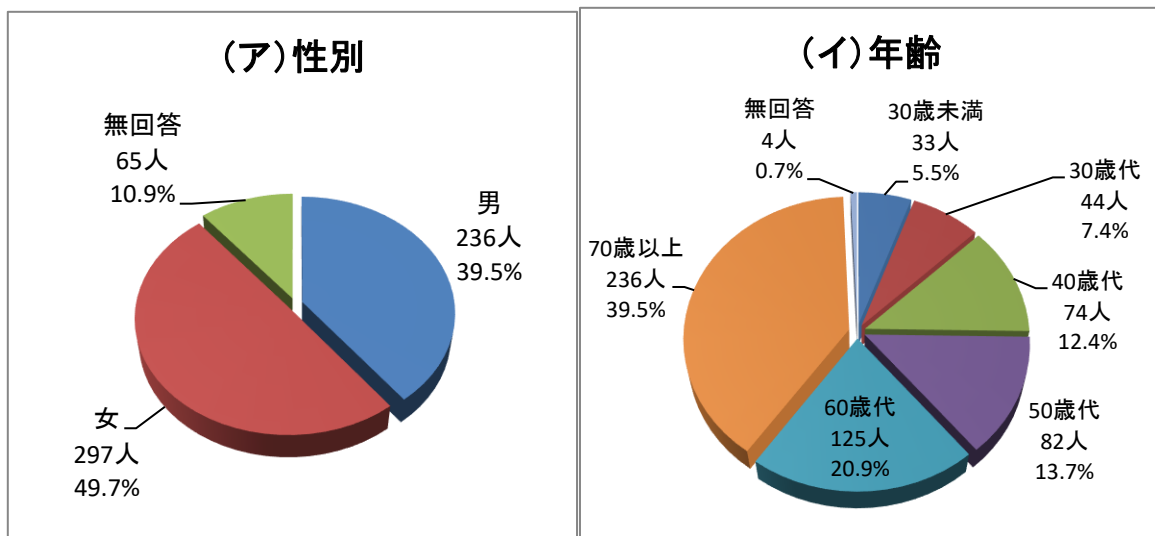
2. 設問別調査結果

【問1】あなたご自身のことについてお答えください。(回答者の属性)
(1つ選択)

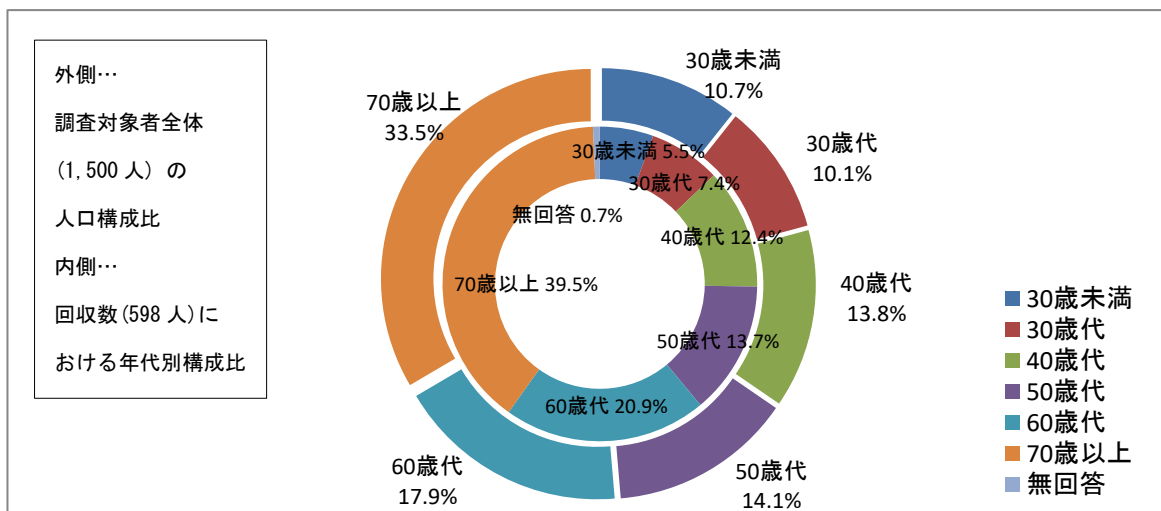
性別については、回答者 598 人のうち男性が 236 人 (39.5%)、女性が 297 人 (49.7%) で、女性が 1 割多くなっています。

年齢については、前回の調査同様年代が高い順に回答数全体に占める割合も高くなっており、70 歳以上が 236 人 (39.5%) で最も高く、60 歳代 125 人 (20.9%)、50 歳代 82 人 (13.7%)、40 歳代 74 人 (12.4%)、30 歳代 44 人 (7.4%) と続き、30 歳未満については 33 人 (5.5%) となっています。

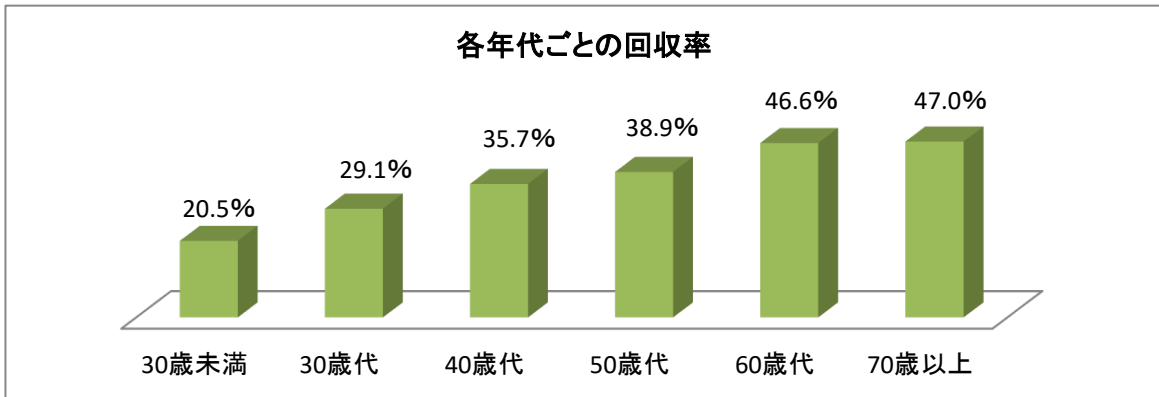
また、回答者に占める割合も、60 歳代以上が前は 58.3%であったのに対し、今回は 60.4%と 6 割を超えています。



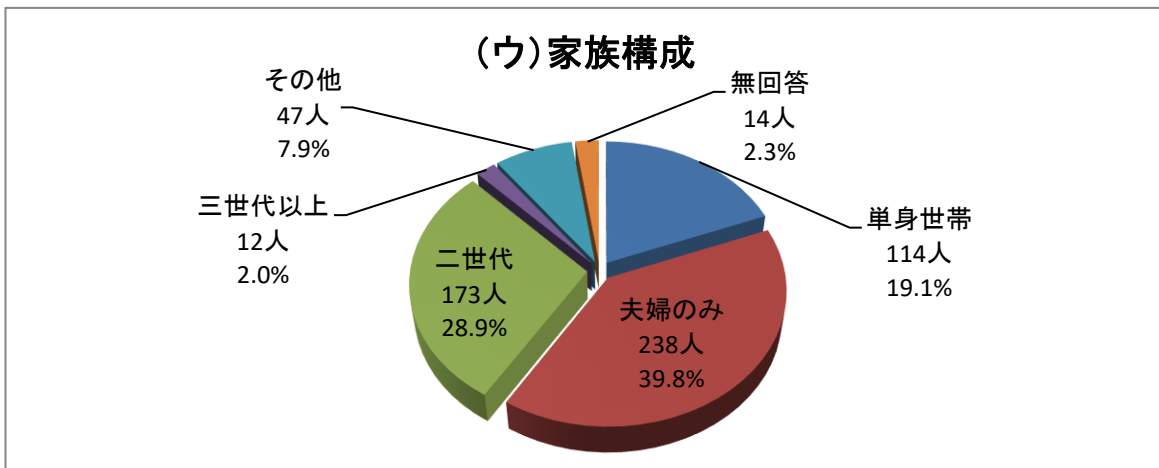
外側の円グラフは調査対象者全体 (1,500 人) に対する人口構成比を表しています。内側の回収数 (598 人) に対する年代別構成比と比較すると、60 代以上の回収率は年代別構成比より高くなっている一方、50 歳代以下の回収率は年代が若くなるに従い低くなっています。若い世代の回収率の低さは、次頁の表でもわかります。



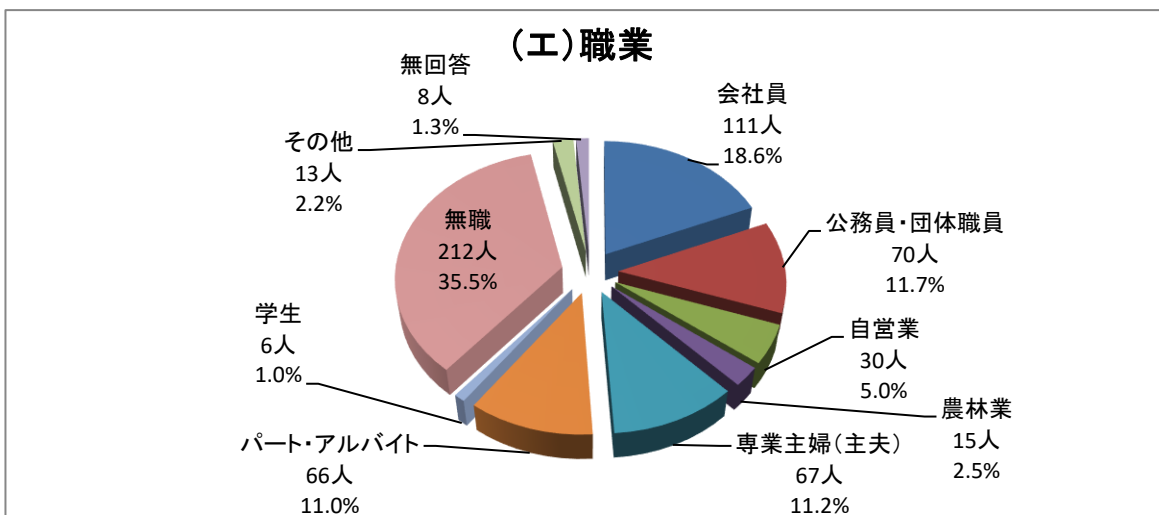
このことから、各設問における回答の傾向としては、年齢の高い世代の意見がより反映された結果になることも考えられます。



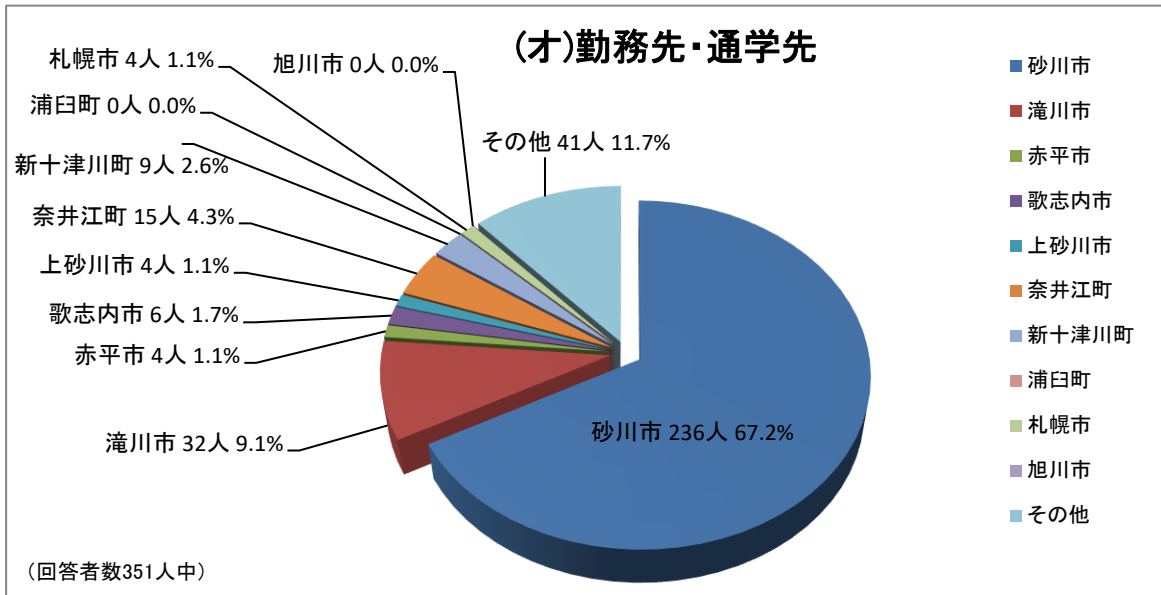
家族構成については、「夫婦のみ」が39.8%と最も高く、「二世帯」(28.9%)、「単身世帯」(19.1%)と続きます。「夫婦のみ」と「単身世帯」を合わせると前回と同様5割を超えています。また、単身世帯が前回の15.6%から19.1%に増えており、単身世帯の増加も伺えます。



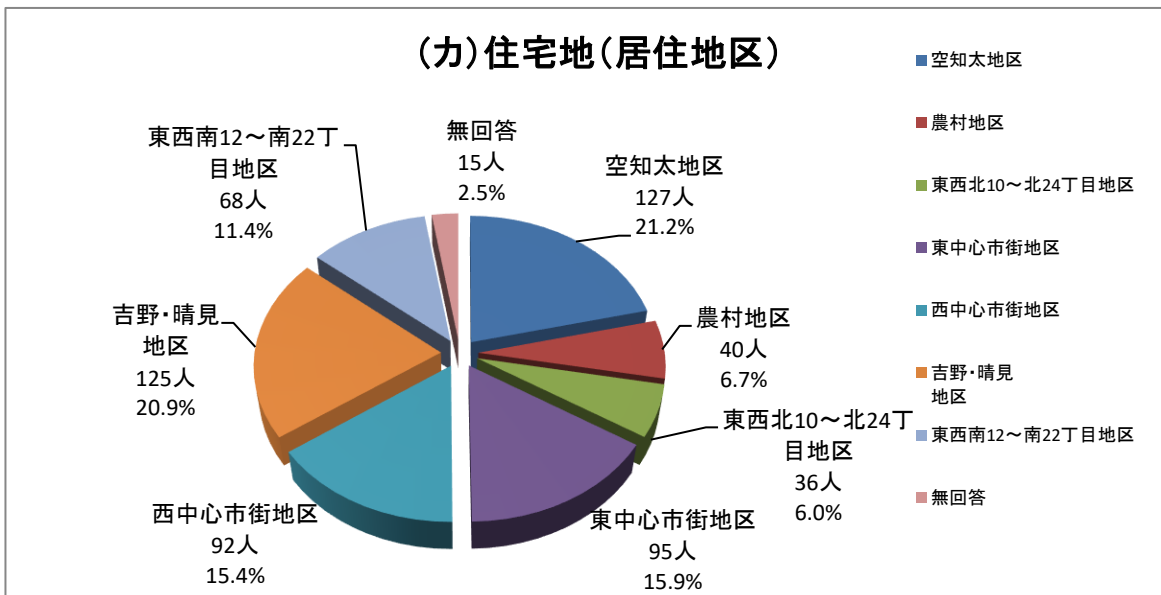
職業については、「無職」が35.5%と最も高く、「会社員」(18.6%)、「専業主婦(主夫)」(11.2%)、「パート・アルバイト」(11.0%)と続きます。



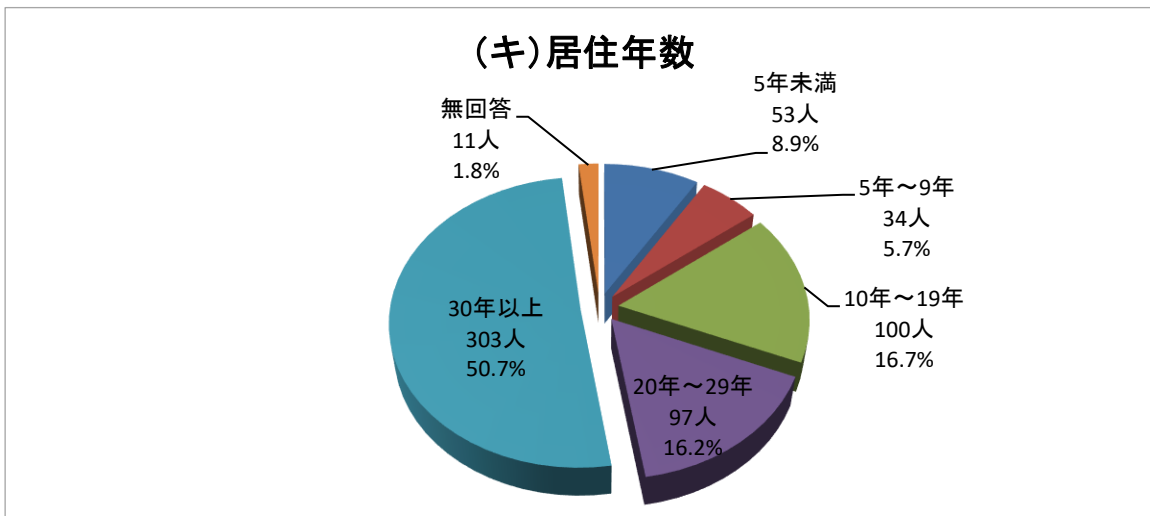
勤務先・通学先については、「砂川市」が67.2%と最も高く、「滝川市」(9.1%)、「奈井江町」(4.3%)と続きます。



住所地(居住地区)については「空知太地区」が21.2%と最も高く、「吉野・晴見地区」(20.9%)、「東中心市街地区」(15.9%)、「西中心市街地区」(15.4%)と続きます。

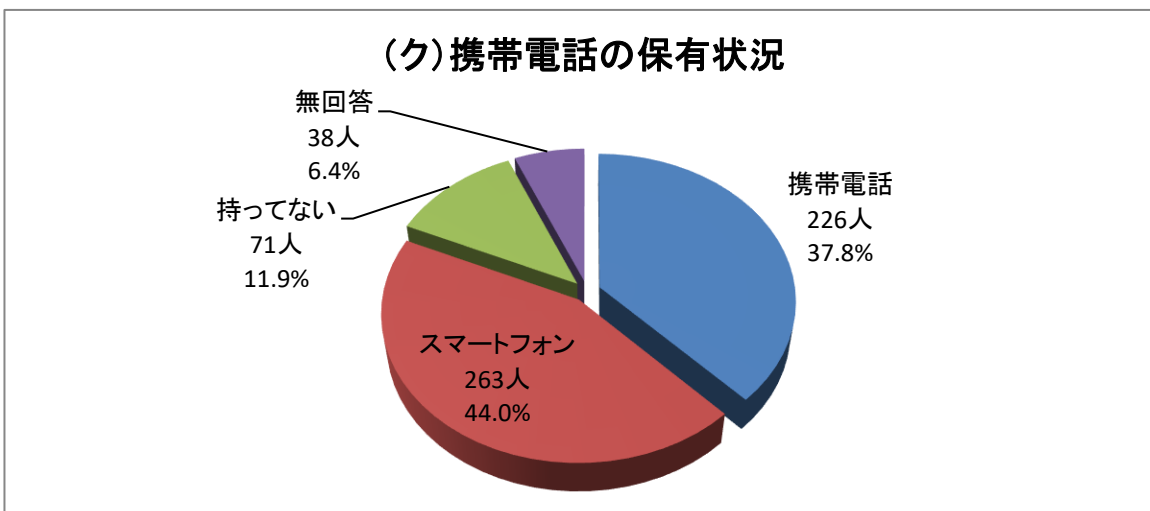


居住年数については、「30年以上」が50.7%と最も高く、「10年～19年」(16.7%)、「20年～29年」(16.2%)と続きます。



携帯電話の保有状況については、「スマートフォン」が44.0%と最も高く、次いで「携帯電話」(37.8%)となっています。

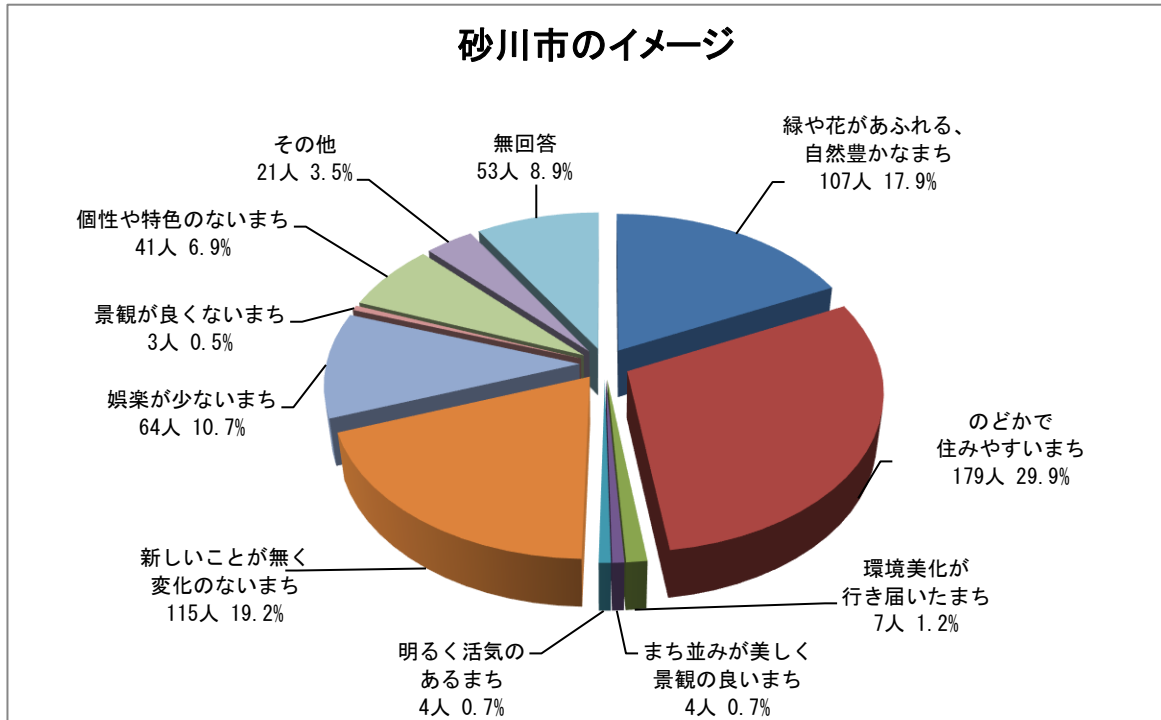
携帯電話を「持っていない」という方も1割程度いることがわかります。



【問2】あなたは、砂川市にどのようなイメージ（印象）を持っていますか。

（1つ選択）

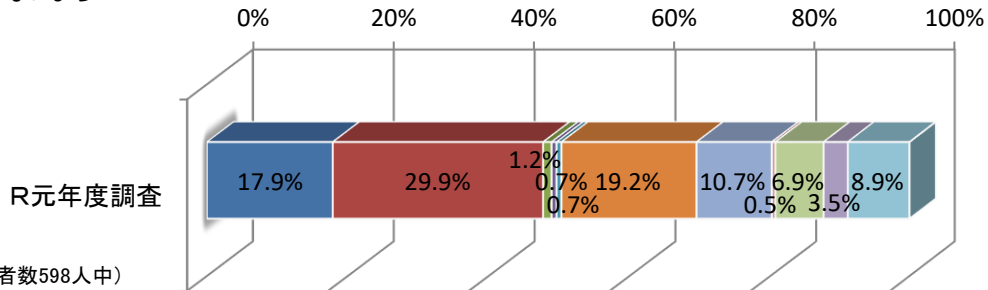
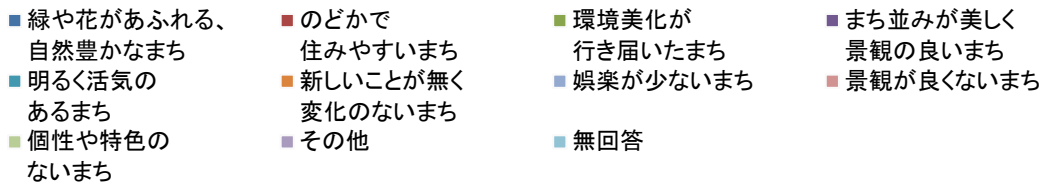
砂川市のイメージについては「のどかで住みやすいまち」が 29.9%と最も高く、「新しいことが無く変化のないまち」（19.2%）、「緑や花があふれる、自然豊かなまち」（17.9%）と続きます。



前回の調査（平成 28 年度実施）とは選択肢文言が違うため単純な比較はできませんが、「緑や花があふれる、自然豊かなまち」というイメージが 28.2%から 17.9%に減少している一方、「のどかで住みやすいまち」が 27.4%から 29.9%に増えています。

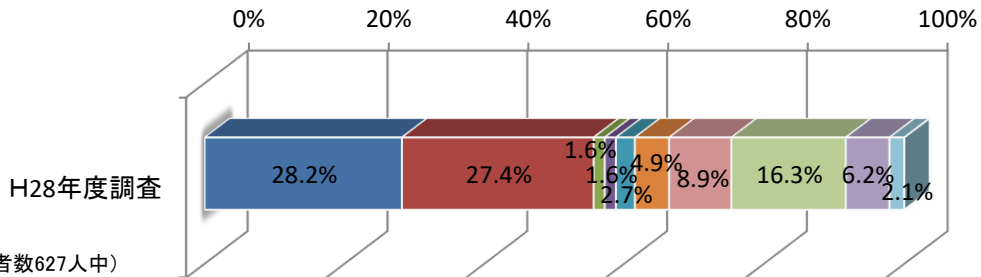
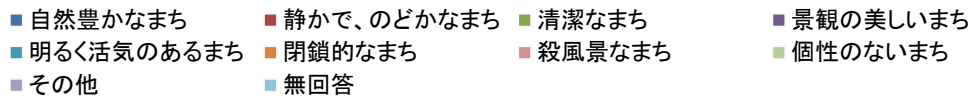
前回調査で「閉鎖的なまち」という回答は、4.9%となっていました。今回「新しいことが無く変化のないまち」という回答は 19.2%となっています。「娯楽が少ないまち」という選択肢は前回同様の意味の選択肢がありませんでしたが、10.7%と、他の回答も含めマイナスなイメージが増加しています。

砂川市のイメージ(R元年度調査)



(回答者数598人中)

砂川市のイメージ(H28年度調査)



(回答者数627人中)

【「その他」の記述】

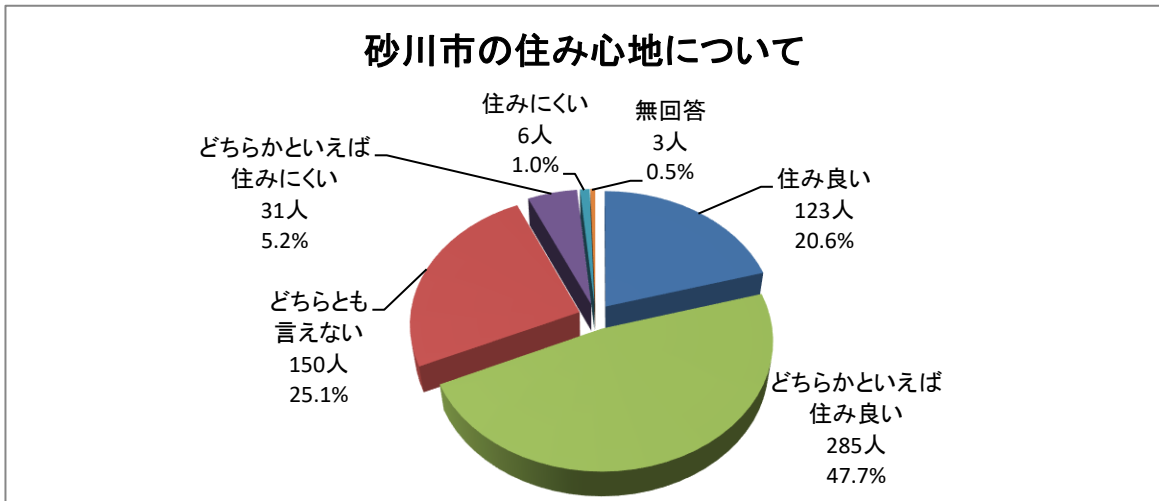
- ・ 病院、スイーツ
- ・ 騒音のうるさい町
- ・ 飲酒事故がおきた町
- ・ ショッピングモールなど服を買ったりする場所がない
- ・ 大型のショッピングモールの無いまち
- ・ 職場が少ない
- ・ 治安が悪い
- ・ 医療が安心なまち
- ・ 子供支援や市民への助成が少ない
- ・ 印象なし
- ・ スイーツがおいしい
- ・ 道の駅が無い町 温泉が無い町
- ・ 祭りが多い町
- ・ おかしのまち
- ・ 活気があるとは思えない
- ・ ゆるやかな過疎地
- ・ 道民にもどこにある「市」か認知されていないまち
- ・ 近隣の街と比較すると街並はきれいな方と思うが独自性が少ない様に思う

【問3】砂川市の住み心地はいかがですか。

(1つ選択)

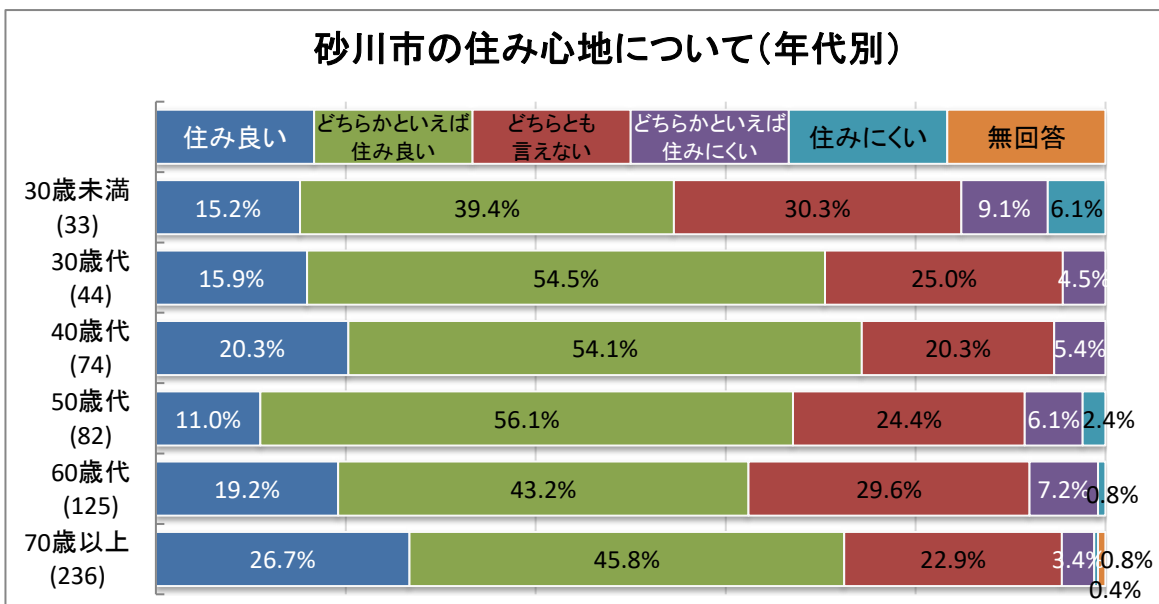
砂川市の住み心地については、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると68.3%となり6割以上の市民が砂川をおおよそ住み良いと考えています。

前回の調査と比較すると、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」とする回答が65.7%から68.3%に増加しており、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とする回答は前回の8.0%から6.2%と減少しています。



年代別にみると、「住み良い」という回答が一番多いのが70歳以上で、3割弱となっています。「どちらかといえば住み良い」を加えると70歳以上と40歳代が、他の世代よりも住み心地が良いと考えています。

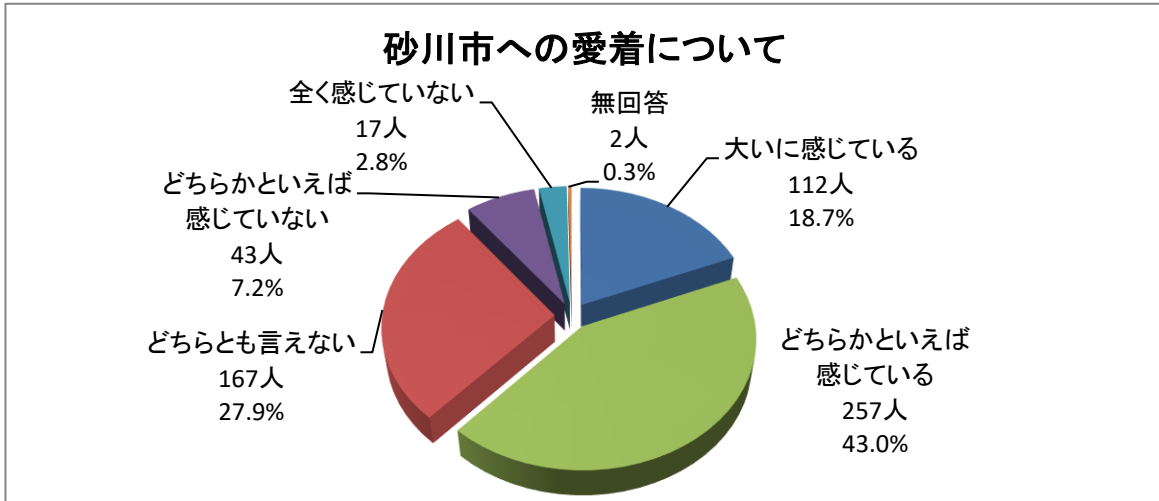
それ以外の年代では、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると5割～7割程度と年齢層による差が見られ、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」については、30歳代未満が15.2%と他の世代と比べて高く、次点で50歳代が8.5%となっています。



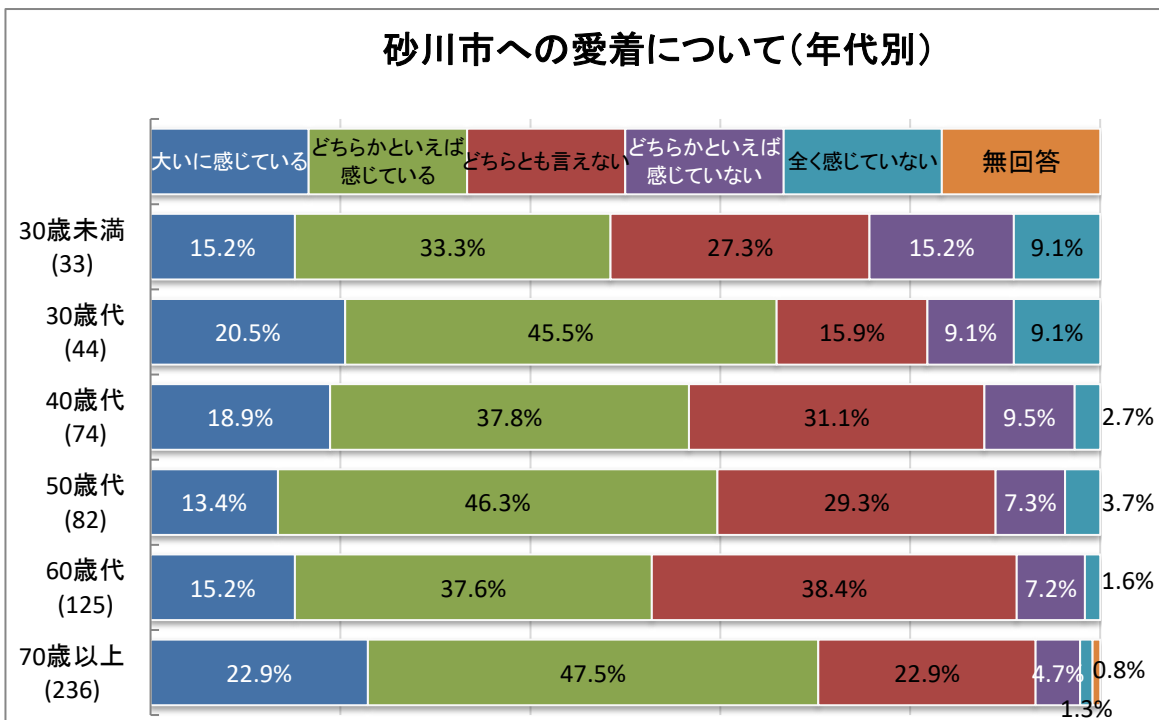
【問4】あなたは、砂川市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つ選択)

「どちらかといえば感じている」が43.0%と最も高く、「どちらとも言えない」(27.9%)、「大いに感じている」(18.7%)と続きます。

「大いに感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせると61.7%で、6割を超える市民が砂川市に愛着を感じています。



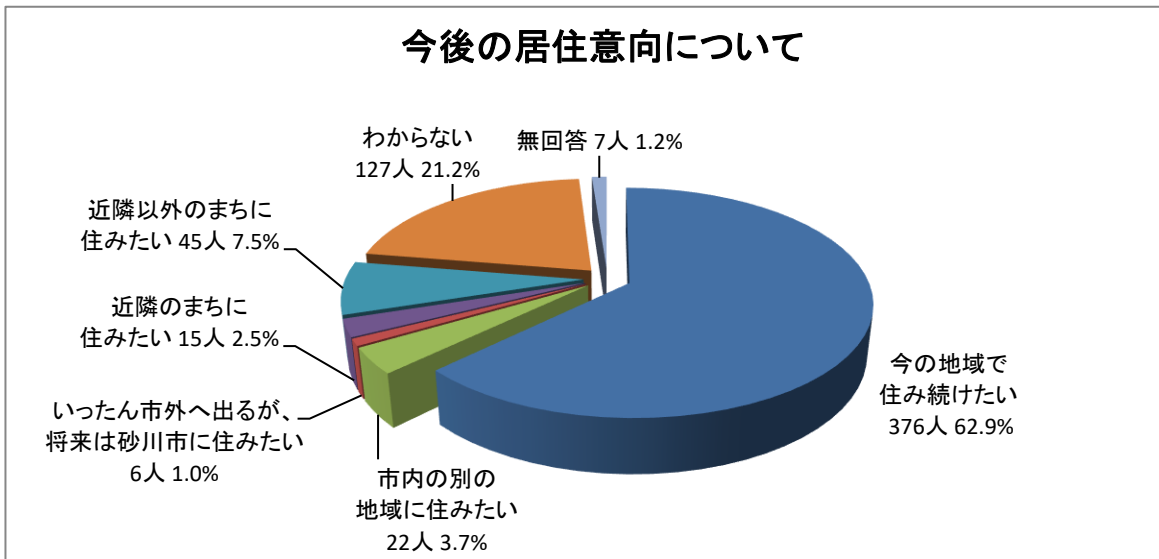
年代別にみると、70歳以上と30歳代の世代が愛着を「大いに感じている」という方が多くなっています。一方で、30歳代は愛着を「全く感じていない」という方も他の年代と比較し高くなっており、続いて30歳未満と、若い世代が高くなっています。



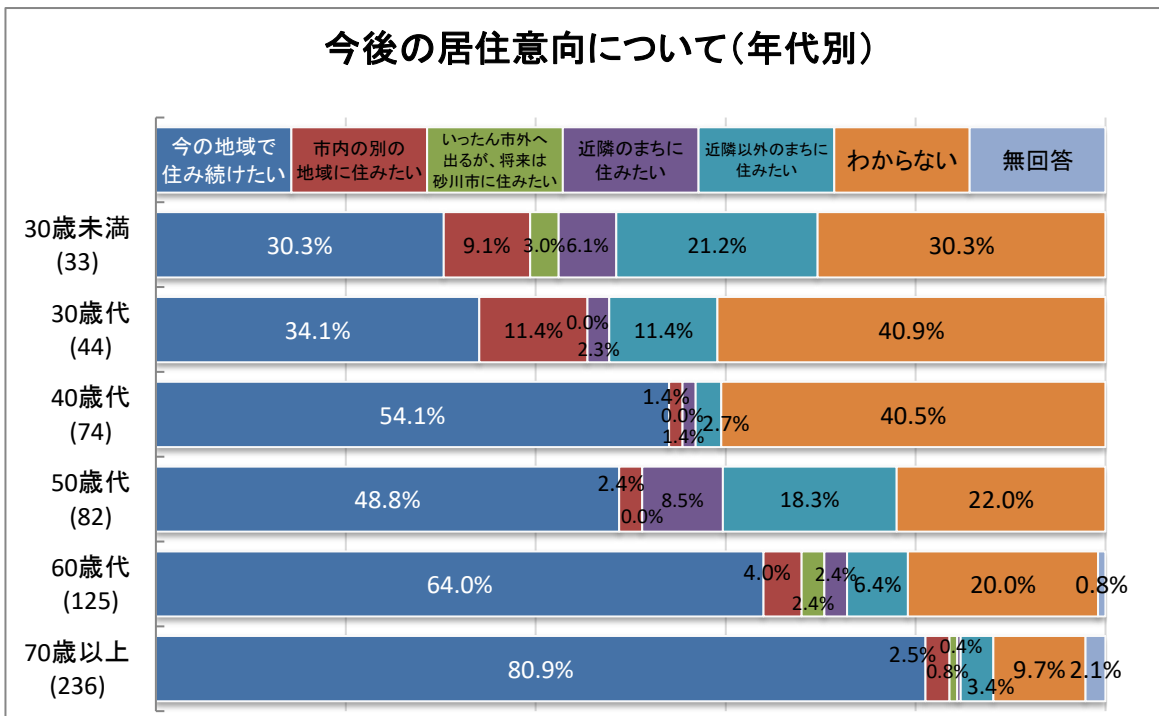
【問5-1】あなたは、今後も現在住んでいる地域に住んでいたいと思いますか。
(1つ選択)

「今の地域で住み続けたい」が62.9%と最も高く、「近隣以外のまちに住みたい」(7.5%)、「市内の別の地域に住みたい」(3.7%)と続きます。

「今の地域」と「市内の別の地域」を合わせると66.6%で、6割を超える市民が今後も砂川市に住む意向を持っています。前回の調査と比較すると、今後も砂川市に住む意向を持っている市民は71.2%から66.6%に減少しています。



年代別にみると年代が高くなるほど「今の地域で住み続けたい」という回答が高くなっています。一方で「砂川市以外の別のまちに住みたい」という回答は30歳未満で高く、若い世代の砂川への定住志向は、他の年代よりも低くなっています。



市内の別の地域（問1（カ）住所地）	件数
空知太	3
三砂町	1
吉野1～4条南1～8丁目	1
東1～6条北1～9丁目	2
東1～7条南1～11丁目	2
東1～6条南12～22丁目	1
西1～8条北1～9丁目	2
西1～7条南1～11丁目	2
西1～7条南12～22丁目	1
計	15

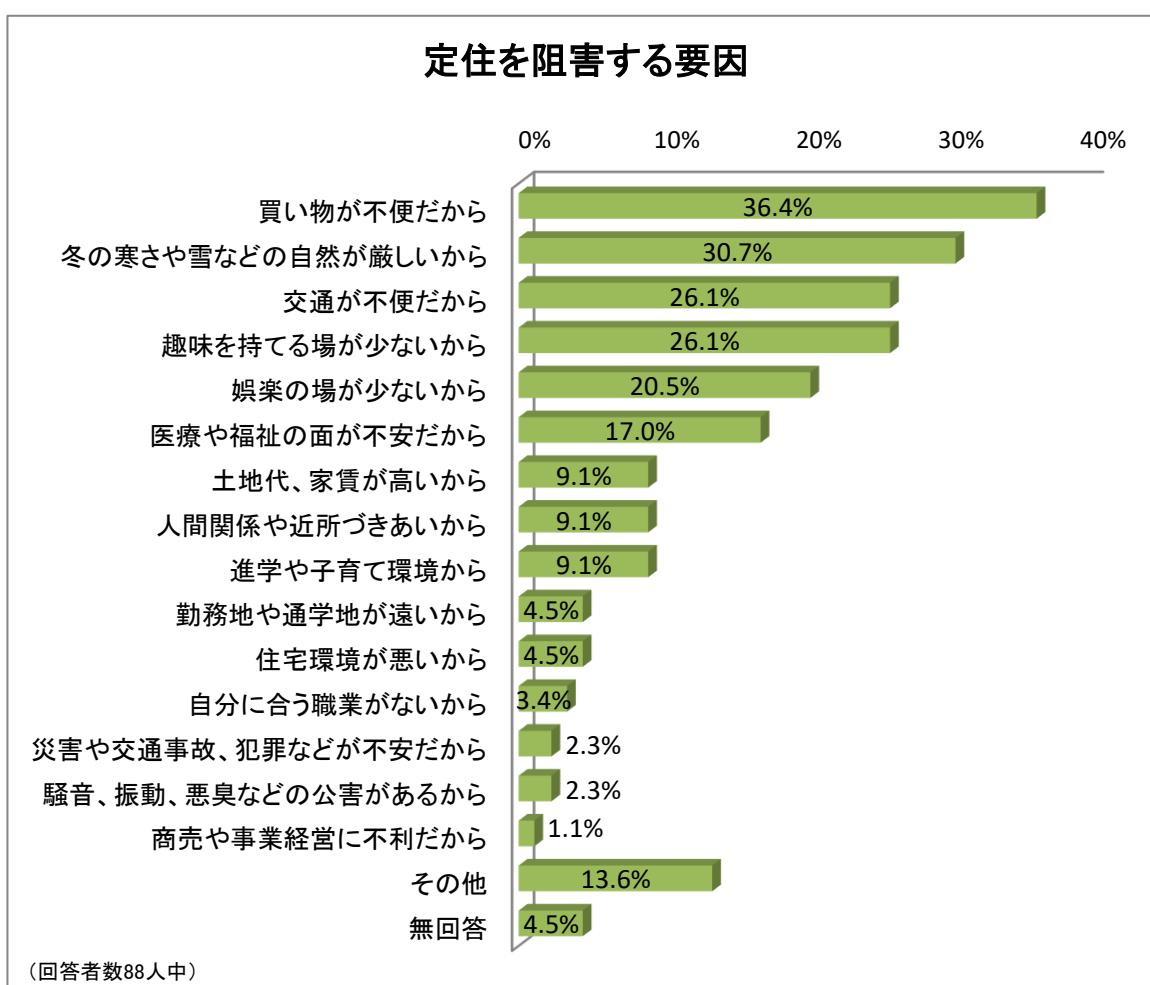
近隣のまち（具体的な市町名）	件数
札幌市	2
滝川市	8
新十津川町	1
美唄市	1
深川市	1
計	13

近隣のまち以外（具体的な市町村名）	件数
札幌市	29
旭川市	2
伊達市	2
岩見沢市	1
恵庭市	1
江別市	1
美瑛町	1
北広島市	1
宇都宮市	1
東京	1
道外	1
計	41

【問5-2】「別の地域やまちに住みたい」や「いったん市外へ出る」を選んだ理由は何ですか。
 (問5-1で2~5を選んだ方 複数回答・3つまで)

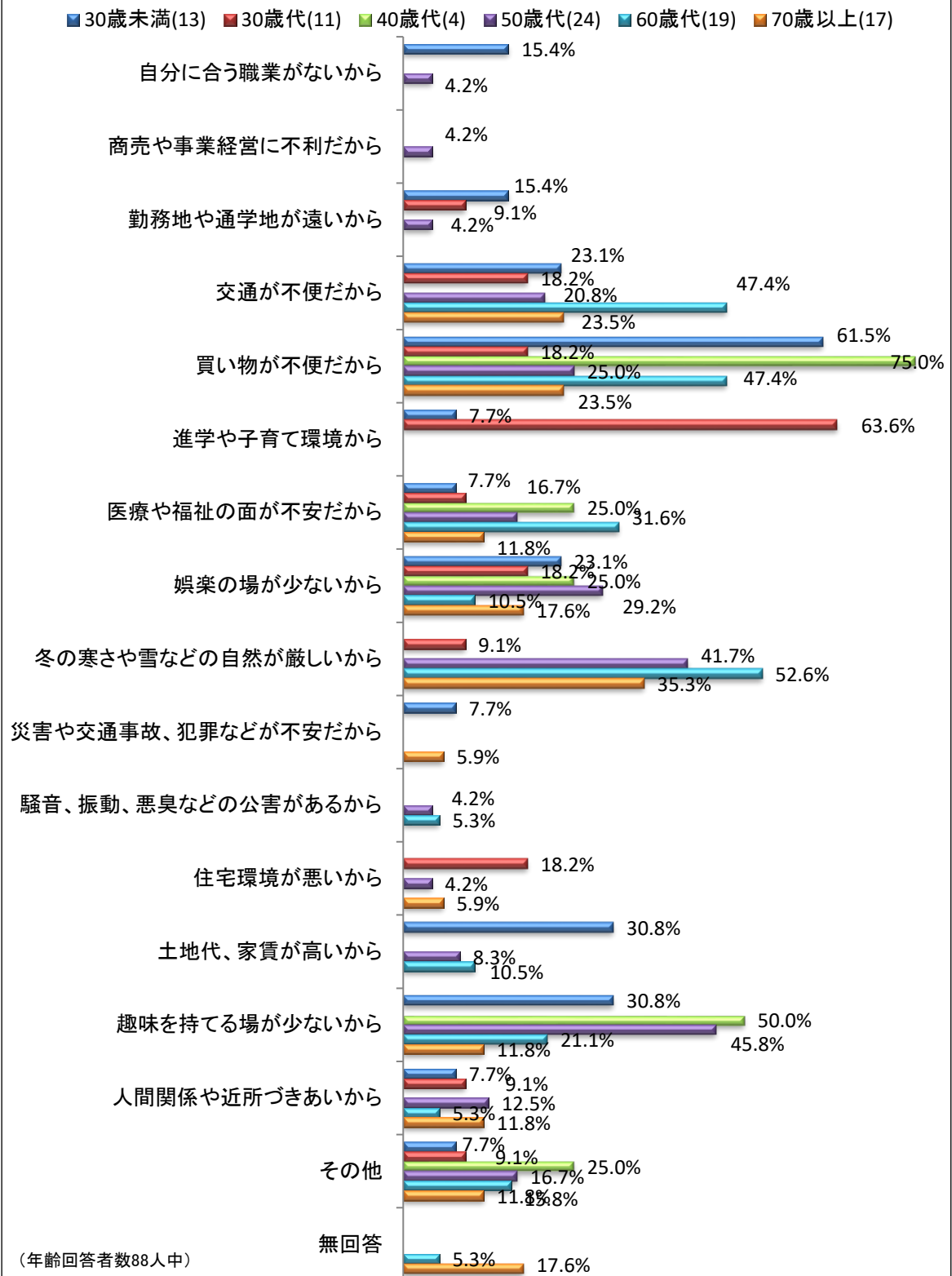
別の地域、または別のまちに住みたい理由としては「買い物が不便だから」が36.4%と最も高く、次いで「冬の寒さや雪などの自然が厳しいから」(30.7%)、「交通が不便だから」、「趣味を持てる場が少ないから」(26.1%)と続き、買い物や交通・冬の除雪などの面で生活に不便さを感じていることがわかります。

前回の調査と比較するとこの3項目は順位は変わったものの、上位3位に入っていることは変わっておらず、定住を阻害する要因として大きな要素であることが伺えます。



次ページグラフの年代別でみると「買い物が不便だから」が他の世代と比べて40歳代で突出して多くなっている他、「冬の寒さや雪などの自然が厳しいから」「交通が不便だから」が60歳代で特に高くなっています。その他、30歳代では「進学や子育て環境から」が突出しており、30歳未満では「勤務地や通学地が遠いから」「土地代、家賃が高いから」の回答数が多く、他の世代との差が目立ちます。

定住を阻害する要因(年代別)



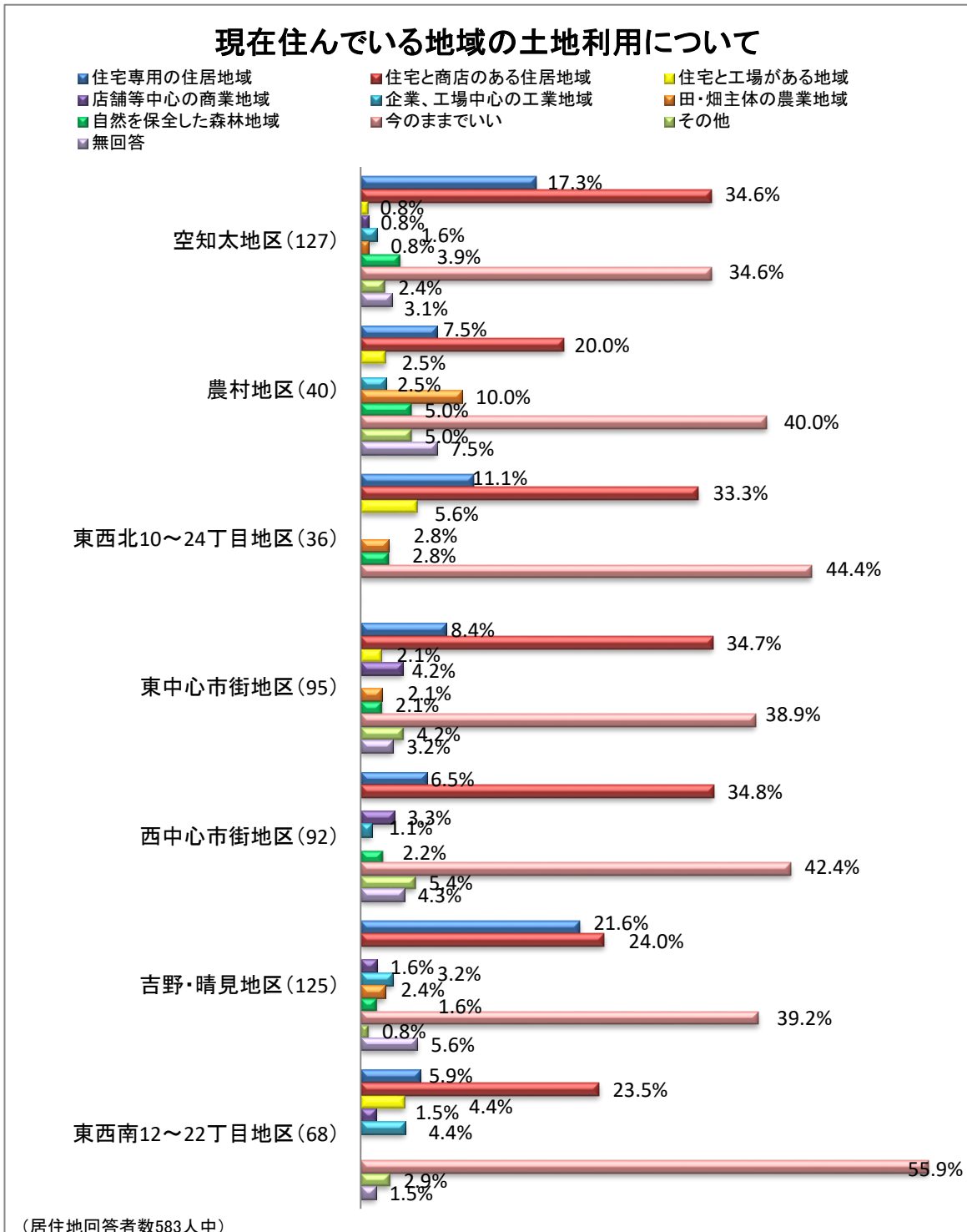
【「その他」の記述】

- ・ 定年後は移りたい
- ・ 結婚して同居するとなると、相手に合わせる必要がある
- ・ 税金が高い
- ・ 家族（両親、子供）が札幌／東京にいるので（5）

【問6】現在お住まいの地域について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

(1つ選択)

空知太地区を除くどの地区も「今のままでいい」という回答が多くなっています。それ以外の回答では、前回の調査と同様どの地域も住宅と商店のある住居地域を望む回答が一番になっており、住宅周辺で買い物もできるような環境整備への志向がより高まっていることが伺えます。



【「その他」の記述】

- ・ あっちこっちで古民家が壊され土地が開いていて草があまりにもはえていて見苦しい。市では財政も良くないとみえ土地の管理者も地元でないので放置しているのしょうけれど。…東中心市街地区
- ・ スーパーが近くに欲しい…空知太地区
- ・ 市外に出て買い物しなくてもいいように買い物に便利な町にしてほしい…東中心市街地区
- ・ 医療が充実している地域…西中心市街地区
- ・ 病院が近いので豪華保養所または施設など…西中心市街地区
- ・ 環境が良い地域なのでもっと自然を生かした工夫を…西中心市街地区
- ・ 山側で一部未舗装、防犯灯未設置、上記が整備されると、いうことなし…空知太地区
- ・ 空き家が増えている。子供もとても少なく、治安も心配。空き家を有効活用して子どもや若い世代が住み、安心して住める地域になってほしい。商業施設は近くにあるので不便ではないと思います。…東西南 12～22 丁目地区
- ・ 活気のある住居地域にして…西中心市街地区
- ・ 人口増加に向けて、多方面における移住者優遇特区地域
- ・ 住宅専用かつ、住宅地域として景観良く（市の介入あり）活気のある地域にした方がいい…空知太地区
- ・ 夜の街灯を明るくして安心安全に歩けるようにしてほしい…東中心市街地区
- ・ 子供の生活用品が売っているお店が遠く、不便に感じることが多い…西中心市街地区
- ・ 買い物に遠くて困る…農村地区

【問7】あなたは、第6期総合計画で進めてきた砂川市のまちづくりに、どの程度満足していますか。また、今後、取り組むべき重要度についてもお答えください。
(満足度、重要度それぞれ回答・1つまで)

満足度が高かった項目は、「消防・救急体制の充実」、「ごみの減量化やりサイクル」、「良質な水道水の安定供給」、「公共下水道の整備」、の順となっており、前回調査の1～4位と同項目が入っており、前回同様生活環境の分野に対して満足度が高いという結果になっています。

また、満足度が低かった項目は、「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」、「雇用の確保・拡大と労働環境の充実」、の順となっており、前回と同率同項目である一方、新項目の「空き家・空き地対策」が3位になるなど、産業振興と都市基盤の分野で満足度が低いという結果になっています。

平成28年度調査時とポイント数を比較すると、項目によって増減はありますが、特に「交通安全対策」(0.45ポイント増)、「環境汚染などを防ぐ公害対策」(0.31ポイント増)、「犯罪の未然防止対策」(0.29ポイント増)についてのポイントが高くなっており、生活環境・防災に関する政策分野で満足度が増加する結果となりました。

順位	満足度上位20項目				順位	満足度下位20項目			
	項目	ポイント	H28			項目	ポイント	H28	
			順位	ポイント				順位	ポイント
1	消防・救急体制の充実	3.83	2	3.73	1	商店街の活性化と中心市街地のにぎわい	2.34	1	2.13
2	ごみの減量化やりサイクル	3.76	3	3.71	2	雇用の確保・拡大と労働環境の充実	2.63	2	2.37
3	良質な水道水の安定供給	3.67	4	3.70	3	空き家・空き地対策	2.65	-	-
4	公共下水道の整備	3.62	1	3.76	4	冬道の除雪状況	2.74	5	2.70
5	医療体制の充実	3.46	6	3.45	5	地元企業の育成と活性化及び新規企業の誘致	2.76	3	2.53
6	環境汚染などを防ぐ公害対策	3.45	14	3.14	6	砂川の知名度アップ	2.78	4	2.64
7	河川などの災害を未然に防ぐ環境整備	3.37	5	3.53	7	外国人に対応した環境整備	2.82	-	-
8	緑化の取り組みによる美しい景観づくり	3.35	7	3.39	8	公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ	2.85	7	2.84
9	健康づくり事業など保健活動の推進	3.33	10	3.28	9	観光産業の発展やイベントの充実	2.92	8	2.87
10	図書館などの学習施設の充実	3.30	9	3.29	10	婚活支援の推進	2.94	-	-
10	国民健康保険制度の充実	3.30	12	3.19	11	子育てにかかる費用負担軽減支援などの充実	2.95	-	-
12	地震や風水害などへの防災対策	3.28	17	3.13	12	近隣市町との連携強化	2.96	14	2.96

12	交通安全対策	3.28	46	2.83	13	情報通信技術の推進による行政サービスの充実	2.98	-	-
14	砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上	3.25	-	-	13	情報通信ネットワーク環境の充実	2.98	24	3.03
15	幼児教育の充実	3.24	23	3.08	15	民間の活力による、まちづくりの推進	2.99	11	2.93
16	保育サービスの充実	3.23	-	-	16	砂川への移住や定住の促進	3.00	-	-
17	後期高齢者医療制度の充実	3.22	18	3.13	17	市民参加による、まちづくりの推進	3.01	28	3.08
18	芸術や文化に親しむ施設や機会の充実	3.21	13	3.17	17	弱者見守りなど地域における支援体制づくり	3.01	-	-
18	公園などの整備や利用のしやすさ	3.21	11	3.27	17	高等学校教育の充実	3.01	9	2.91
18	犯罪の未然防止対策	3.21	42	2.92	17	効果的で効率的な行政運営	3.01	15	2.97

重要度が高いとされた項目は、「冬道の除雪状況」、「医療体制の充実」、「消防・救急体制の充実」、「地震や風水害などへの防災対策」「高齢者福祉の充実」の順となっております。うち「冬道の除雪状況」と「医療体制の充実」は、前回と同率同項目であり、住民のニーズが引き続き高いことが伺えます。一方、「雇用の確保・拡大と労働環境の充実」が前回3位から今回10位と大幅に順位を下げています。

また、重要度が低いとされた項目は、「外国人に対応した環境整備」、「砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上」、「婚活支援の推進」、「公営住宅の整備状況」の順となっております。

平成28年度調査時とポイント数を比較すると、「地元企業の育成と活性化」(0.16ポイントの減)、「雇用の確保と労働環境の拡大」(0.14ポイントの減)、「砂川の知名度アップ」(0.14ポイントの減)等産業振興の分野の重要度のポイントが減少傾向にあり、前設問で満足度が高まっていることから、産業振興の施策について住民の満足につながる効果が表れていると推察されます。一方「地震や風水害などへの防災対策」が0.25ポイント増加しており、防災に対する意識の高まりがみられます。

順位	重要度上位20項目				順位	重要度下位20項目			
	項目	ポイント	H28			項目	ポイント	H28	
			順位	ポイント				順位	ポイント
1	冬道の除雪状況	4.44	1	4.36	1	外国人に対応した環境整備	3.37	-	-
2	医療体制の充実	4.31	2	4.28	2	砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上	3.43	-	-
2	消防・救急体制の充実	4.31	6	4.19	2	婚活支援の推進	3.43	-	-
4	地震や風水害などへの防災対策	4.30	13	4.05	4	公営住宅の整備状況	3.55	4	3.48
5	高齢者福祉の充実	4.26	7	4.19	5	スポーツ活動への支援	3.58	3	3.50
6	交通安全対策	4.22	8	4.15	5	芸術や文化に親しむ施設や機会の充実	3.58	1	3.50

7	良質な水道水の安定供給	4.19	11	4.10	5	情報通信ネットワーク環境の充実	3.58	2	3.50
8	買物の便利さ	4.18	12	4.07	8	緑化の取り組みによる美しい景観づくり	3.59	9	3.63
9	後期高齢者医療制度の充実	4.13	15	4.01	9	地域コミュニティ活動に必要な環境整備	3.60	6	3.55
10	雇用の確保・拡大と労働環境の充実	4.11	3	4.25	10	市民参加による、まちづくりの推進	3.64	12	3.67
10	生活道路の整備状況	4.11	21	3.95	10	公園などの整備や利用のしやすさ	3.64	8	3.62
10	商店街の活性化と中心市街地のにぎわい	4.11	4	4.22	10	生涯学習の充実	3.64	7	3.60
13	介護保険制度の充実	4.10	14	4.03	13	スポーツ・レクリエーション施設の充実	3.67	10	3.64
13	犯罪の未然防止対策	4.10	10	4.12	14	情報通信技術の推進による行政サービスの充実	3.68	-	-
15	いじめや不登校の防止や相談機能の充実	4.09	-	-	15	予約型乗合タクシーの運行体制の充実	3.69	-	-
16	療育支援や虐待防止など児童福祉の充実	4.07	-	-	16	消費者を保護するための相談体制の充実	3.71	14	3.74
17	計画的で健全な財政運営	4.06	17	4.00	17	図書館などの学習施設の充実	3.72	13	3.68
18	国民健康保険制度の充実	4.05	29	3.90	18	民間の活力による、まちづくりの推進	3.73	16	3.81
18	子育てにかかる費用負担軽減支援などの充実	4.05	-	-	18	観光産業の発展やイベントの充実	3.73	22	3.87
20	公共下水道の整備	4.04	23	3.94	20	砂川への移住や定住の促進	3.74	-	-

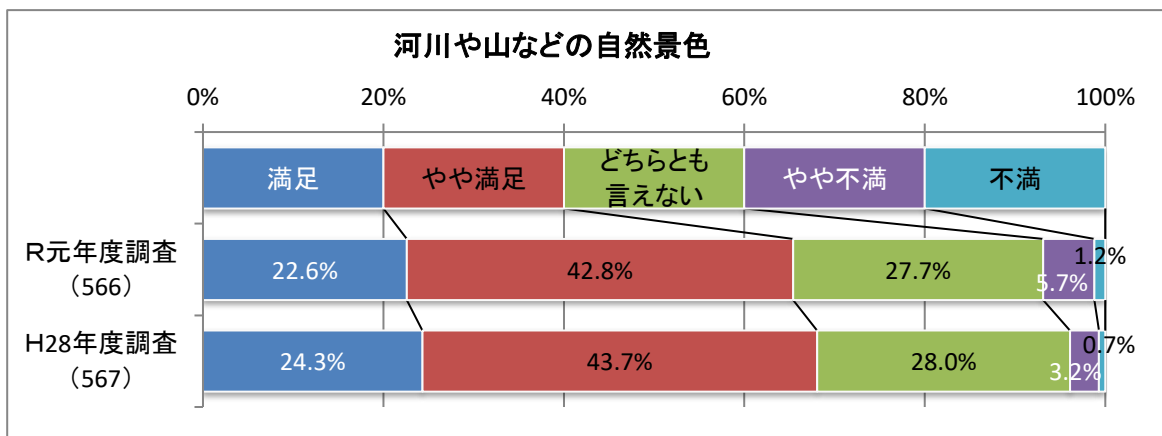
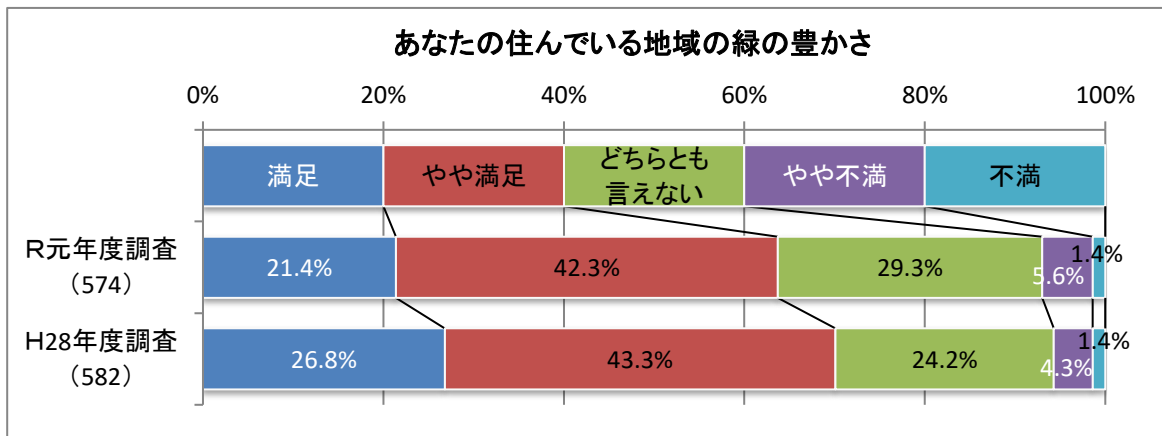
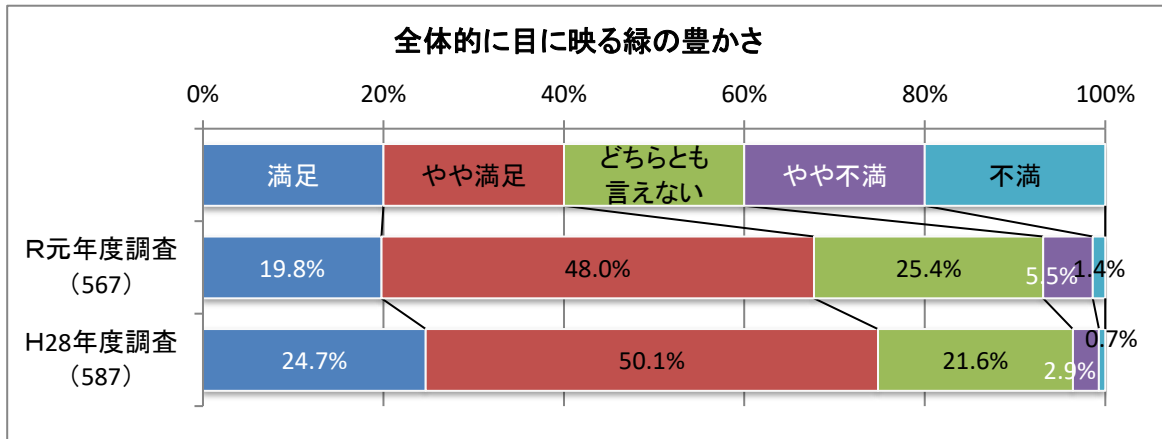
さらに、この満足度と重要度のポイントを散布図に表すと次表のようになります。

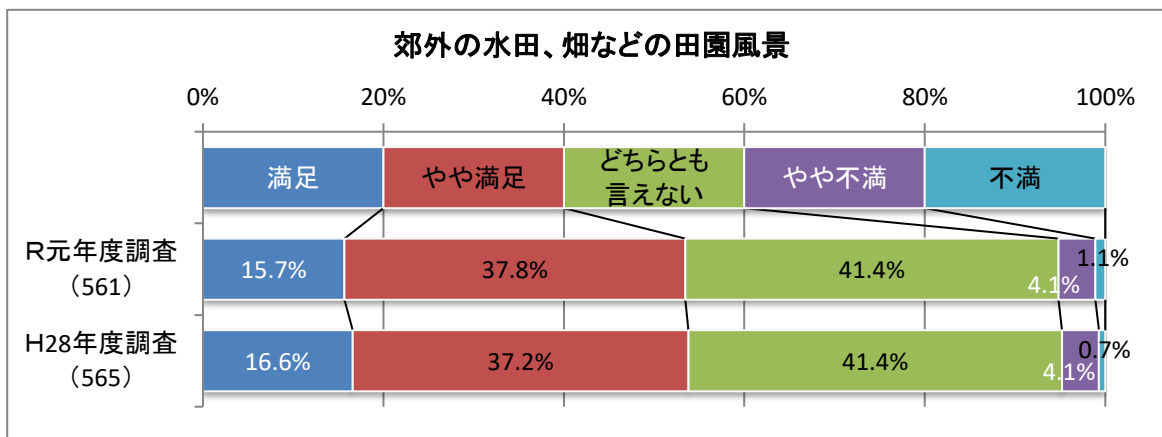
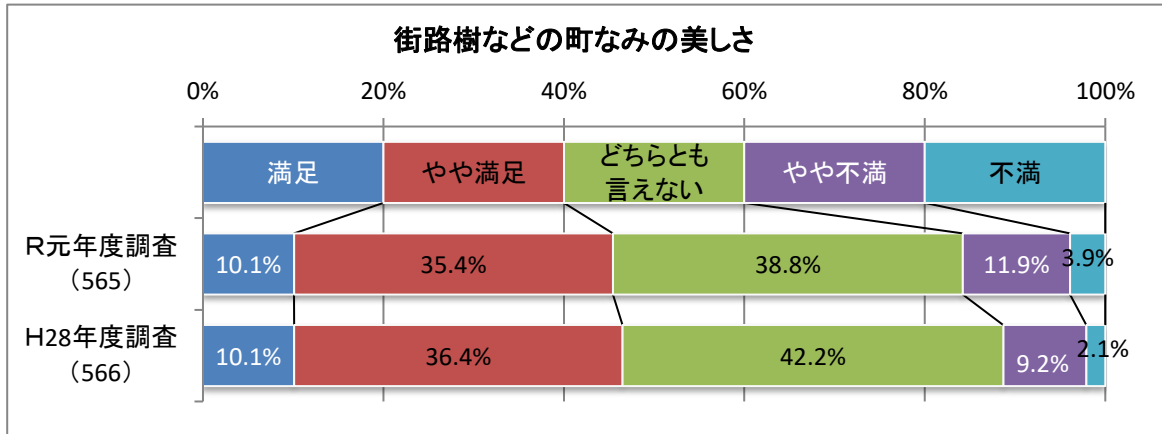
拡大図の左上のエリアは、「重要度が高い」にもかかわらず「満足度が低い」ということから市民ニーズが高く、今後の課題ともなるべき項目だといえますが、ここには前回と同様「産業振興」の分野の項目と、「冬道の除雪状況」の項目が入っており、特に「冬道の除雪状況」へのニーズは依然として高いことが伺えます。また、新しく「子育てにかかる費用負担軽減支援の充実」もここに入りました。

右上のエリアは「重要度が高く」、「満足度高い」というエリアであります。ここには前回同様「医療制度の充実」が入ったほか、前回と同様に「高齢者福祉・医療保険」の分野が入り、その分野の満足度が引き続き高くなっていることがここからも伺えます。一方、右下のエリアは、比較的「重要度が低く」、「満足度高い」というエリアで、ここに入ると現状で比較的満足されている施策であるといえますが、「生活環境」及び「教育」の分野の項目が多く入り、入っている項目数は前回の25から今回23と大きな変化はみられませんでした。

【問8】あなたは、砂川市全体の緑が広がる景観について、どの程度満足していますか。
(1つ選択)

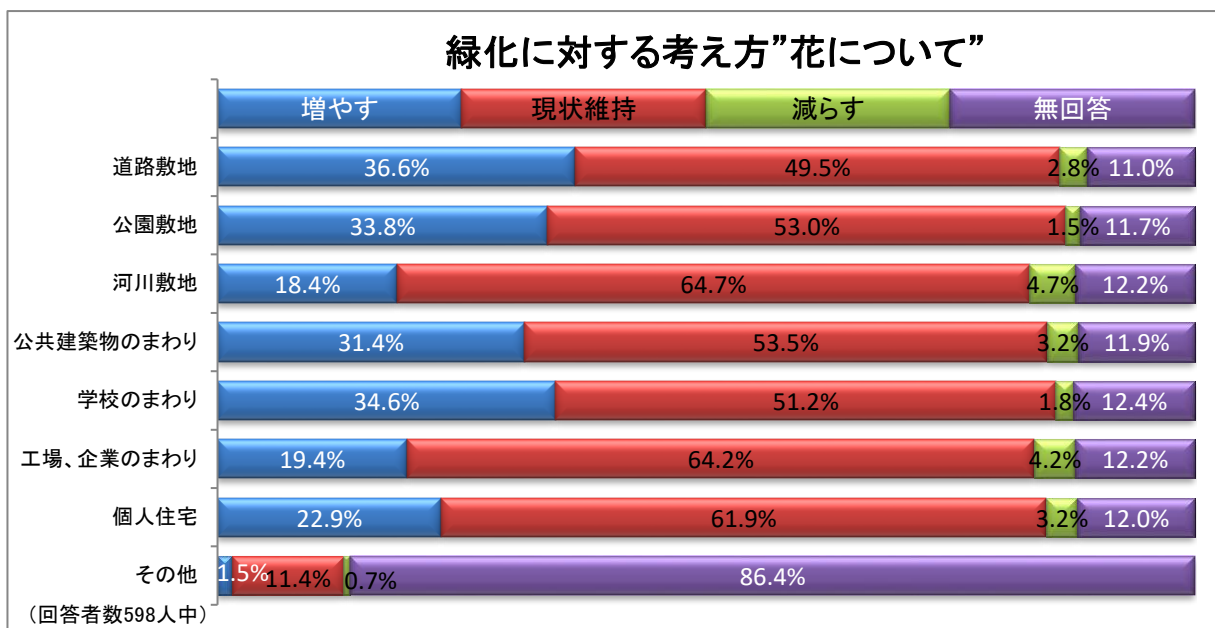
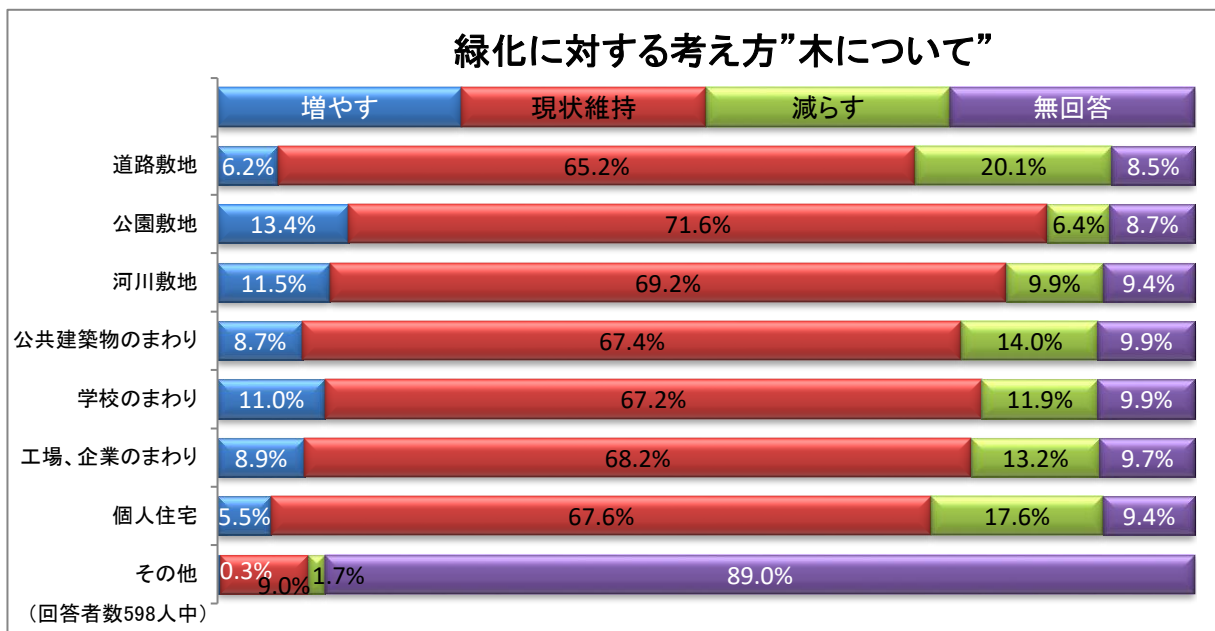
緑についての満足度については、前回の調査と比較を行うと、5つの調査のいずれの項目も「やや不満」の回答が微増しています。「全体的に目に映る緑の豊かさ」については「満足」「やや満足」の合計が前回 74.8%から 67.8%に減っています。





【問9】砂川市は、緑あふれる公園都市をめざし、木々を植えて緑化を推進してきました。樹木は、CO2の削減、防災や景観、動植物の生存など多くの効果をもたらします。その一方で、落ち葉の処理、害虫やカラスの巣、自然災害による倒木などの問題点もあります。あなたの目から見た緑化に対する考え方ではまるものを選んでください。（1つ選択）

全般的に市内の各場所の緑は「現状維持」という回答が多く見られ、「その他」を除くすべての場所で、「木」、「花」とともに「現状維持」が最も多くなっています。また、すべての場所で「木を増やす」よりも「花を増やす」という回答が上回っています。



・その他の場所

()の中は回答数

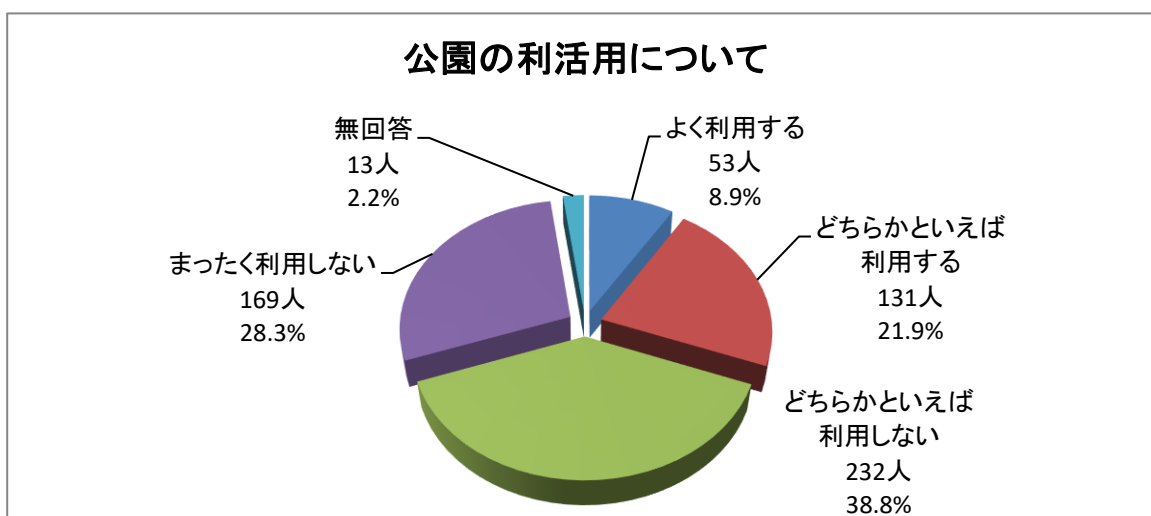
川の周り (2)	木を減らす (2) ・ 花を減らす (1)
駅前公園 (1)	木を減らす (1) ・ 花を減らす (1)
街路樹 (1)	木を減らす (1) ・ 花を増やす (1)

【その他、緑化に対してのご意見の記述】

- ・ 住宅前や道路周辺の街路樹は運転時の視界確保や除雪などの面で邪魔
- ・ 街路樹が手入れされていなかったり、落ち葉が落ちていたりで大変。
- ・ 緑化は大事ですが、維持・管理することも視野に入れて緑化を推進していただきたい
- ・ 花の種類をばらばらにするのではなく、1つにまとめ統一した方が知名度が上がると思う
- ・ 花見ができる場を設けてほしい
- ・ オアシスパーク公園や河川道路の整備を
- ・ 増やす、減らすではなく、剪定や雑草の除去を行う
- ・ 雑草が伸びすぎている
- ・ 国道12号沿いの街路樹は“桜”等の方が良いと思います
- ・ 緑にお金をかけずに、人にかけて欲しい
- ・ どうせやるなら滝川市の菜の花のように人が見に来てくれるようなのが良いと思います

【問 10-1】身近な公園（街区公園）は、レジャーの場、憩いの場、災害時の指定緊急避難場所など色々な役割を果たしています。また、子どもの国や日の出公園（総合体育館周辺）、北光公園、オアシスパークなどの大きな公園は利用目的に合わせた整備を行っています。あなたは、公園をどれくらい利用していますか。（1つ選択）

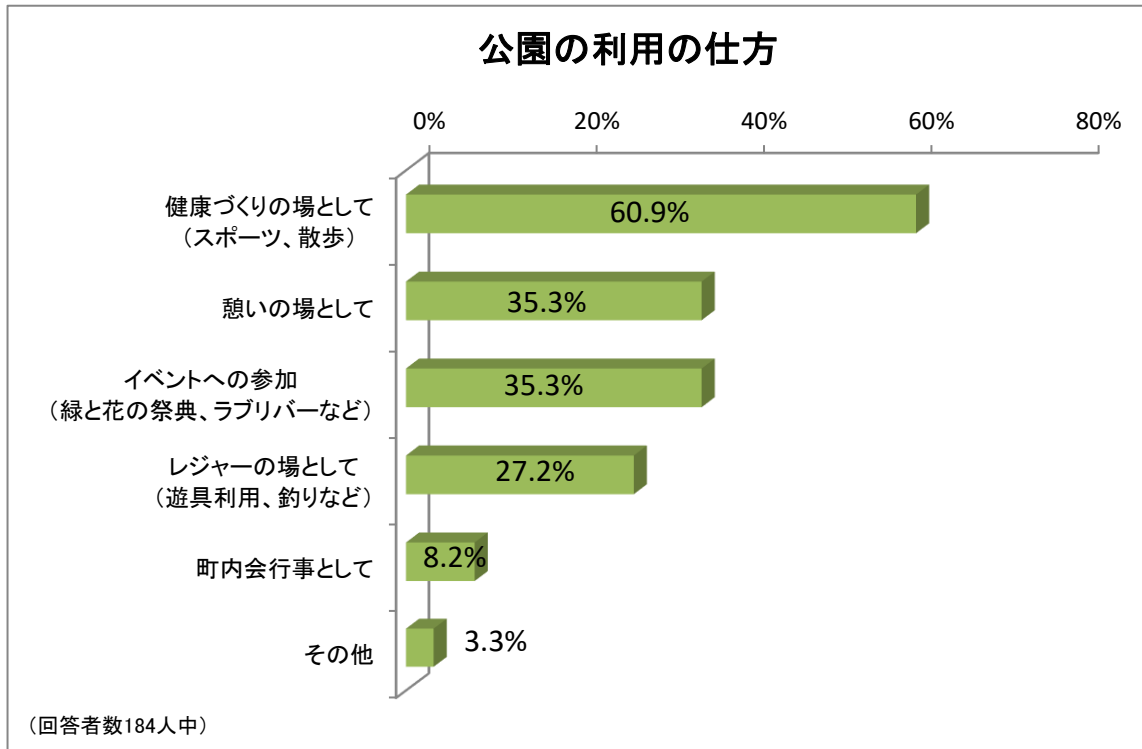
「まったく利用しない」「どちらかといえば利用しない」の合計（67.1%）が「公園をよく利用する」「どちらかといえば利用する」の合計（30.8%）の2倍以上となっています。



【問 10-2】公園をよく利用する方に、利用内容についてお伺いします。

(問 10-1 で 1 か 2 を選んだ方 複数選択)

利用の仕方としては「健康づくりの場として（スポーツ、散歩）」が 60.9%と最も高く、「憩いの場として」（35.3%）、「イベントへの参加（緑と花の祭典、ラブリバーなど）」（35.3%）、「レジャーの場として（遊具利用、釣りなど）」（27.2%）と続きます。



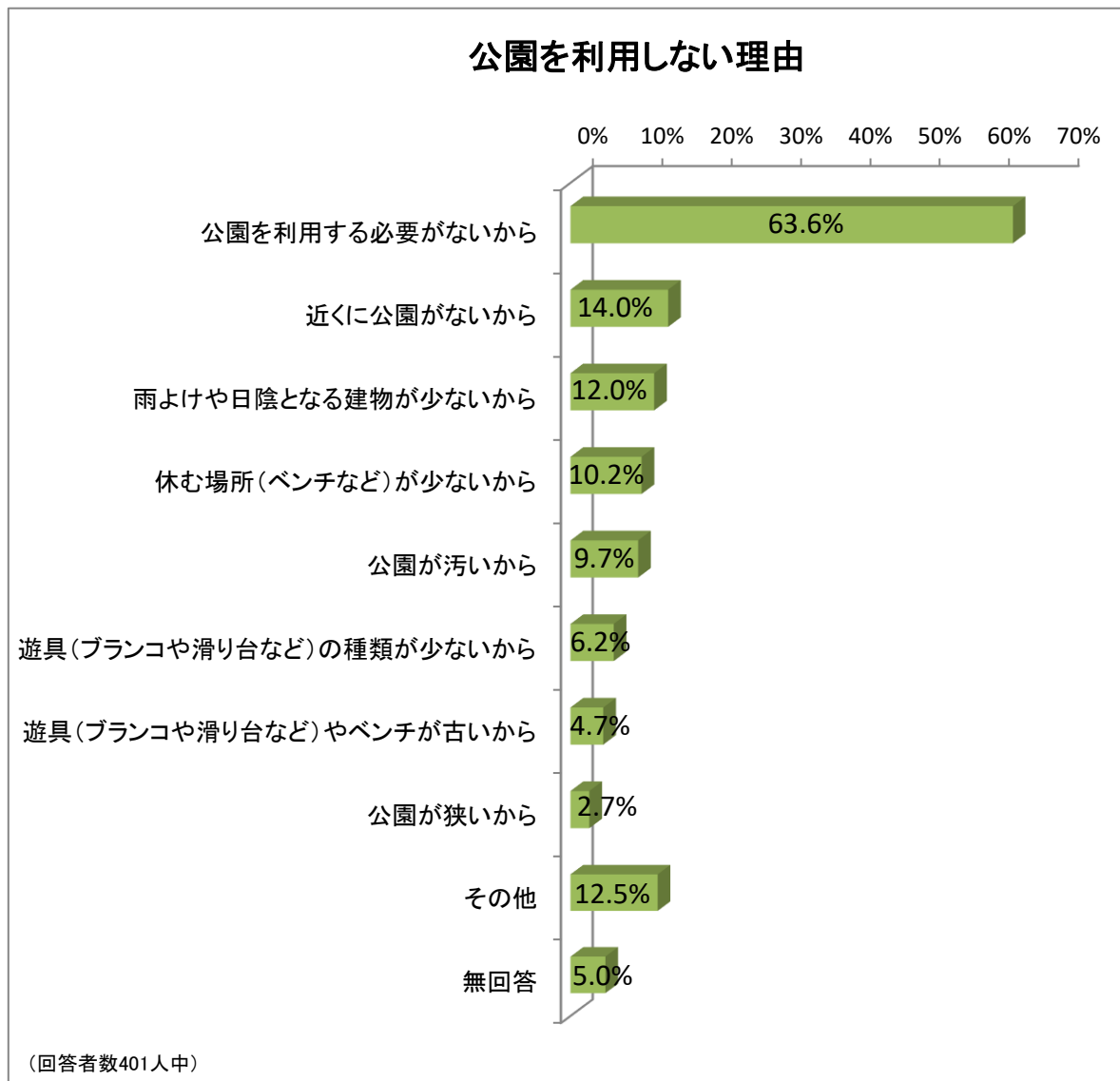
【その他】の記述

- ・ ドッグラン
- ・ 季節の花を見に行つて写真を撮ったり、陽や光、風を楽しむために行く
- ・ ジムカーナコース
- ・ 子どもを遊ばせるため
- ・ 待ち合わせの場として

【問 10-3】公園をあまり利用しない方に、利用されない理由についてお伺いします。

(問 10-1 で 3 か 4 を選んだ方 複数選択)

公園を利用しない理由については「公園を利用する必要がないから」が 63.6%と最も高く、「近くに公園がないから」(14.0%)、「雨よけや日陰となる建物が少ないから」(12.0%)と続きます。



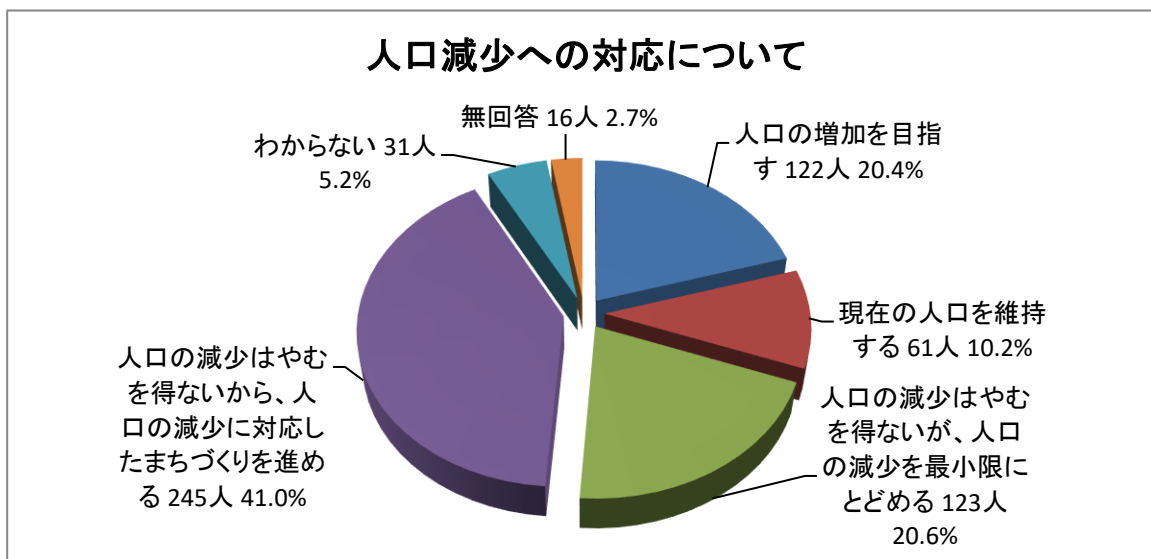
【その他】の記述

- ・年齢とともに足遠くなった
- ・行くひまがない
- ・大人が利用する理由がない
- ・ひと気がなく、不安で一人では行けない。
- ・公園へ行く交通手段がない
- ・用事がないから
- ・子どもがいない／大きくなったため

- ・外スポーツできる施設が望ましい
- ・草がのびていることが多いので行きたくない
- ・整備、修復されていない場所が多い
- ・BBQなどのコンロ等あれば利用したい
- ・足が不自由で利用しない
- ・トイレがきれいじゃない

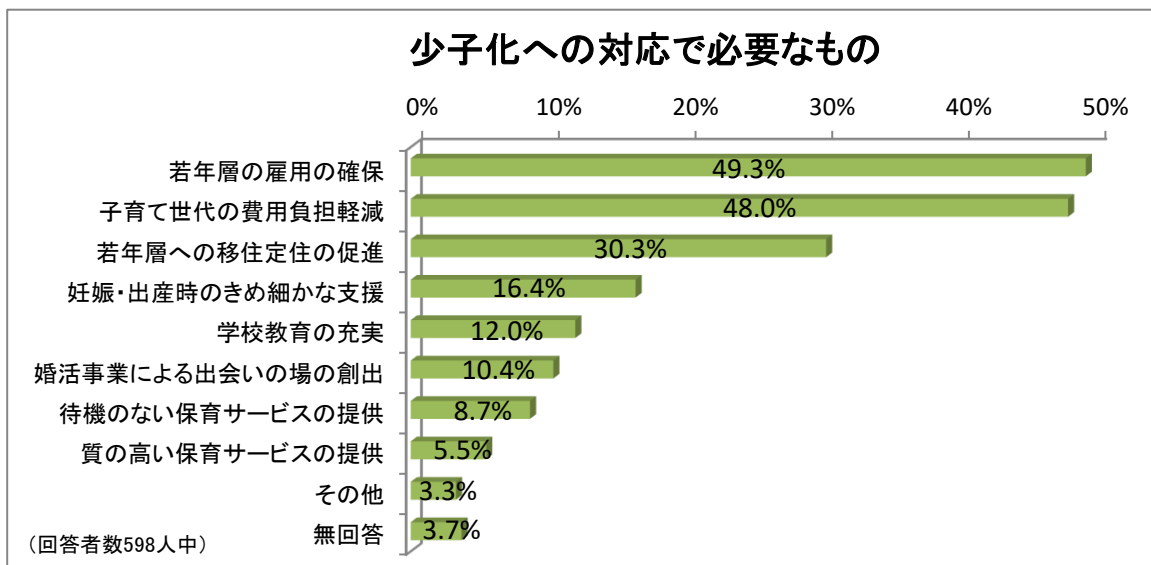
【問 11】人口減少への対応についてお聞きします。砂川市の人口は、昭和 33 年（1958 年）の 31,249 人をピークに減少を続けております。今後の砂川市の対応として、あなたの考えに最も近いものを選択してください。（1つ選択）

「人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める」が最も高く、41.0%となっています。次いで、「人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる」が 20.6%、「人口の増加を目指す」が 20.4%となっています。



【問 12】 少子化の対応についてお聞きします。あなたは、砂川市の少子化への対応について何が必要とお考えですか。（複数回答・2つまで）

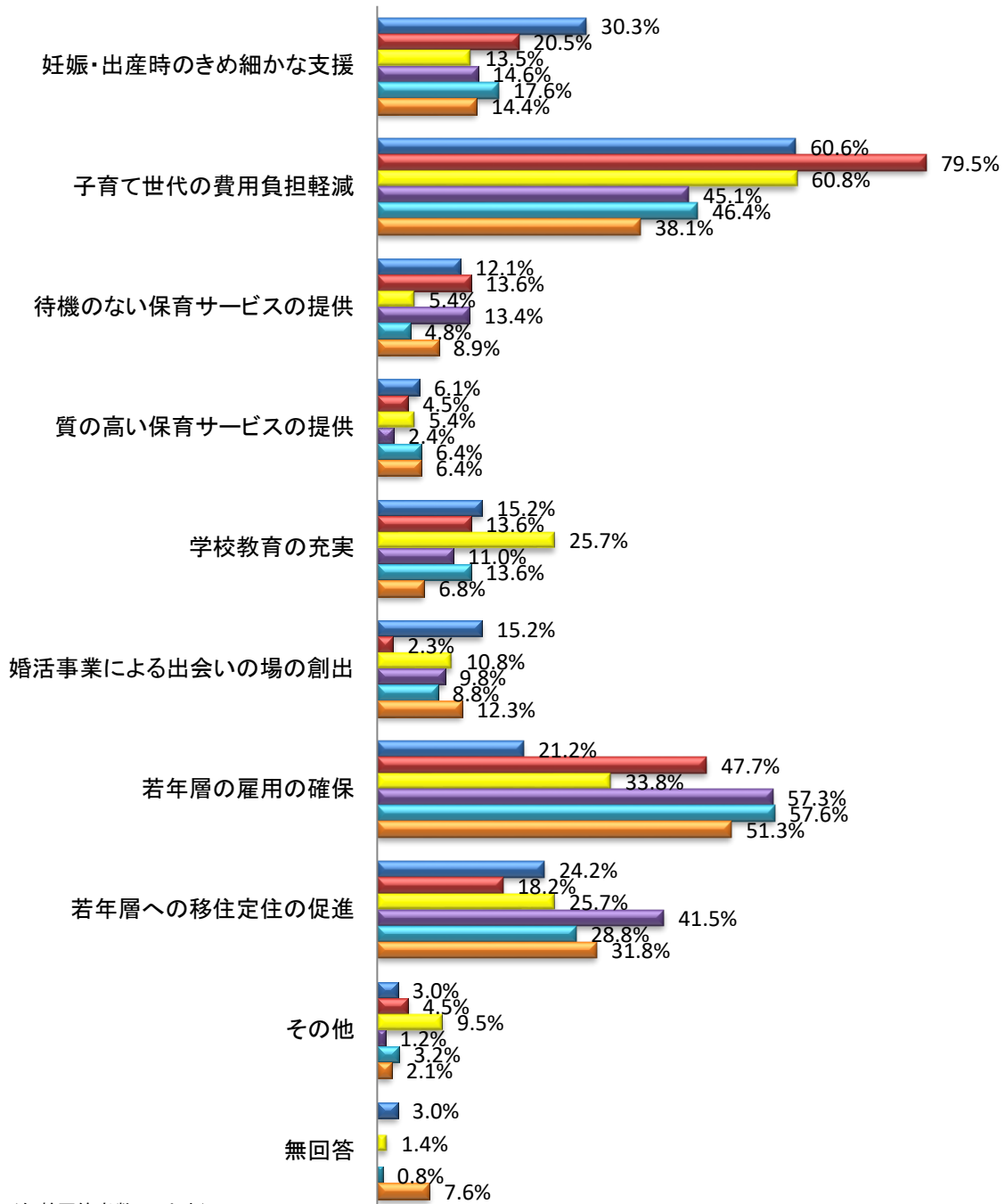
少子化に対して砂川市の対応で必要なものについては、「若年層の雇用の確保」が最も高く、49.3%となっています。次いで「子育て世帯の費用負担軽減」（48.0%）、「若年層への移住定住の促進」（30.3%）と続きます。



年代別でみると「子育て世帯の費用負担軽減」が他の世代と比べて30歳代で突出して多く、他、「若年層の雇用の確保」が30歳未満、40歳代を除いて高くなっています。その他、40歳代では「学校教育の充実」の回答数が、50歳代では「若年層への移住定住の促進」の回答数が多く、他の世代との差が目立ちます。

少子化への対応に必要なもの(年代別)

■ 30歳未満(33) ■ 30歳代(44) ■ 40歳代(74) ■ 50歳代(82) ■ 60歳代(125) ■ 70歳以上(236)



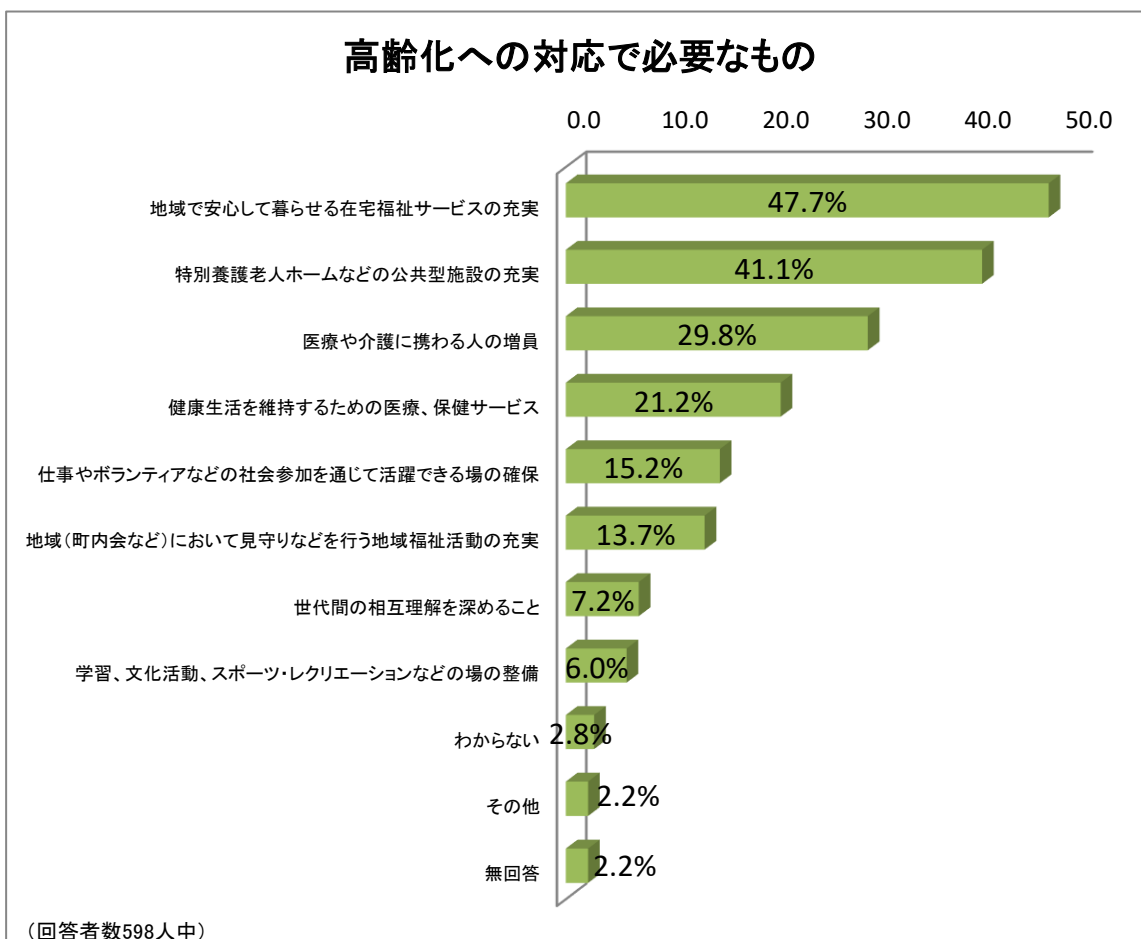
【「その他」の記述】

- ・若者が魅力とを感じるものがなにもない。この町にいたいというものをつくるべき
- ・18歳までの子供達に対する無償援助
- ・医療費の補助拡大（新十津川や赤平のように）
- ・若い人の住むアパート、マンションが高い
- ・勤務時間選択の充実

- ・子育て支援が少ない
- ・ショッピングモール、子供向けの施設があれば魅力的だと思う。砂川に住めばこんなに子供とママにいいことがある！！というものがあれば引っ越してくる人もいそう
- ・親子で安心して遊ぶことができる場所を作る
- ・高給料を保証する職場を確保し、アピールすると若者が自然と集まり、生活するようになる
- ・安定感がある生活じゃないと無理
- ・就学児童の医療費無償化　こちらが無ければ新たに砂川で子を産み育てようとは全く思わない

【問 13】 高齢化への対応についてお聞きします。あなたは、砂川市の超高齢社会への対応について何が必要とお考えですか。（複数回答・2つまで）

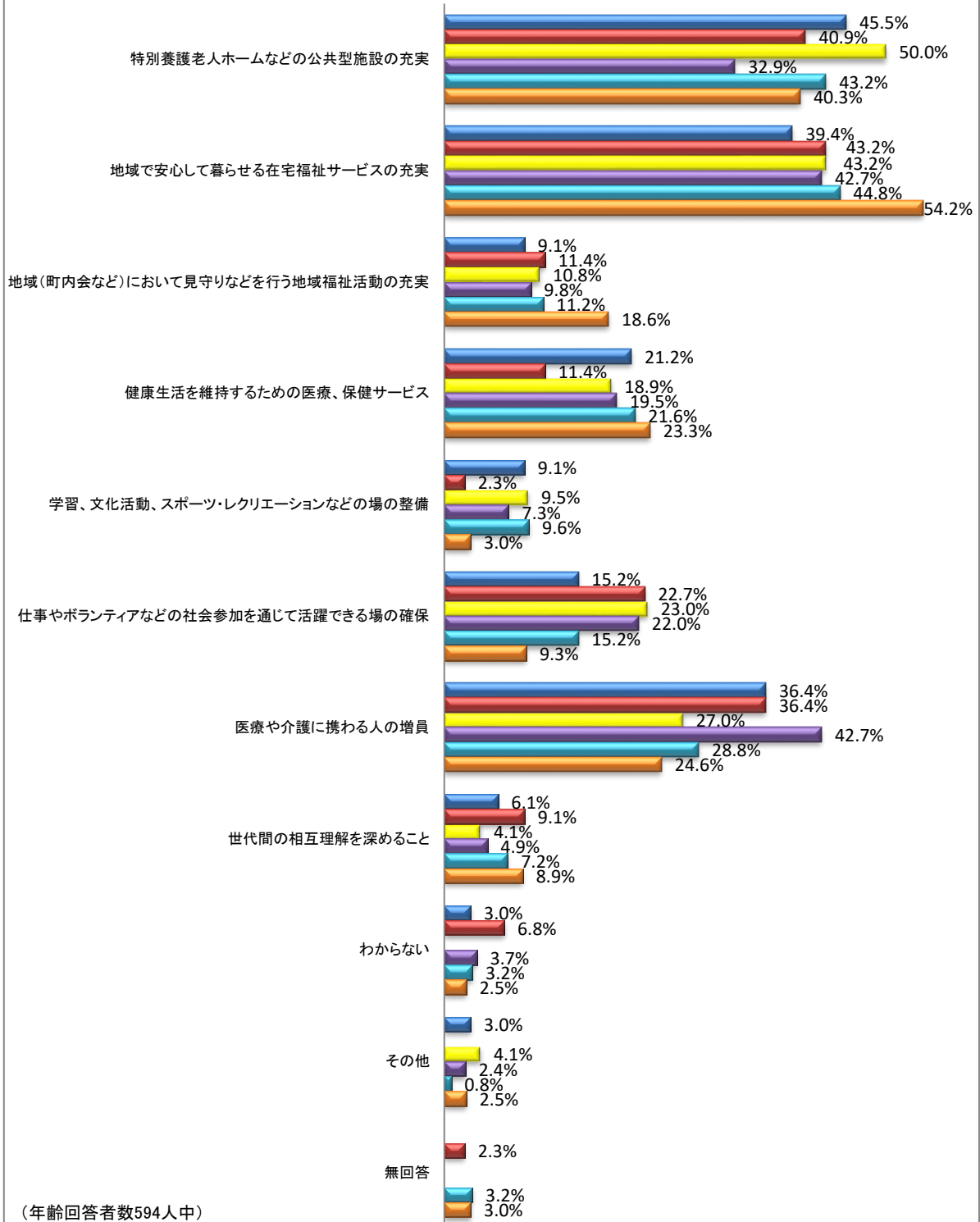
高齢化への砂川市の対応について、「地域で安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実」が最も高く、47.7%となっています。次いで「特別養護老人ホームなどの公共型施設の充実」（41.1%）、「医療や介護に携わる人の増員」（29.8%）と続きます。



年代別で見ると「地域で安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実」が70歳代以上に突出して多くなっている他、「特別養護老人ホームなどの公共型施設の充実」が40歳代で特に高くなっています。一方で「学習、文化活動、スポーツ・レクリエーションなどの場の整備」の回答数は比較的どの年代でも少なくなっており、他の対応と比べると必要と感じられていないことがわかります。

高齢化への対応に必要なもの(年代別)

■ 30歳未満(33) ■ 30歳代(44) ■ 40歳代(74) ■ 50歳代(82) ■ 60歳代(125) ■ 70歳以上(236)



【「その他」の記述】

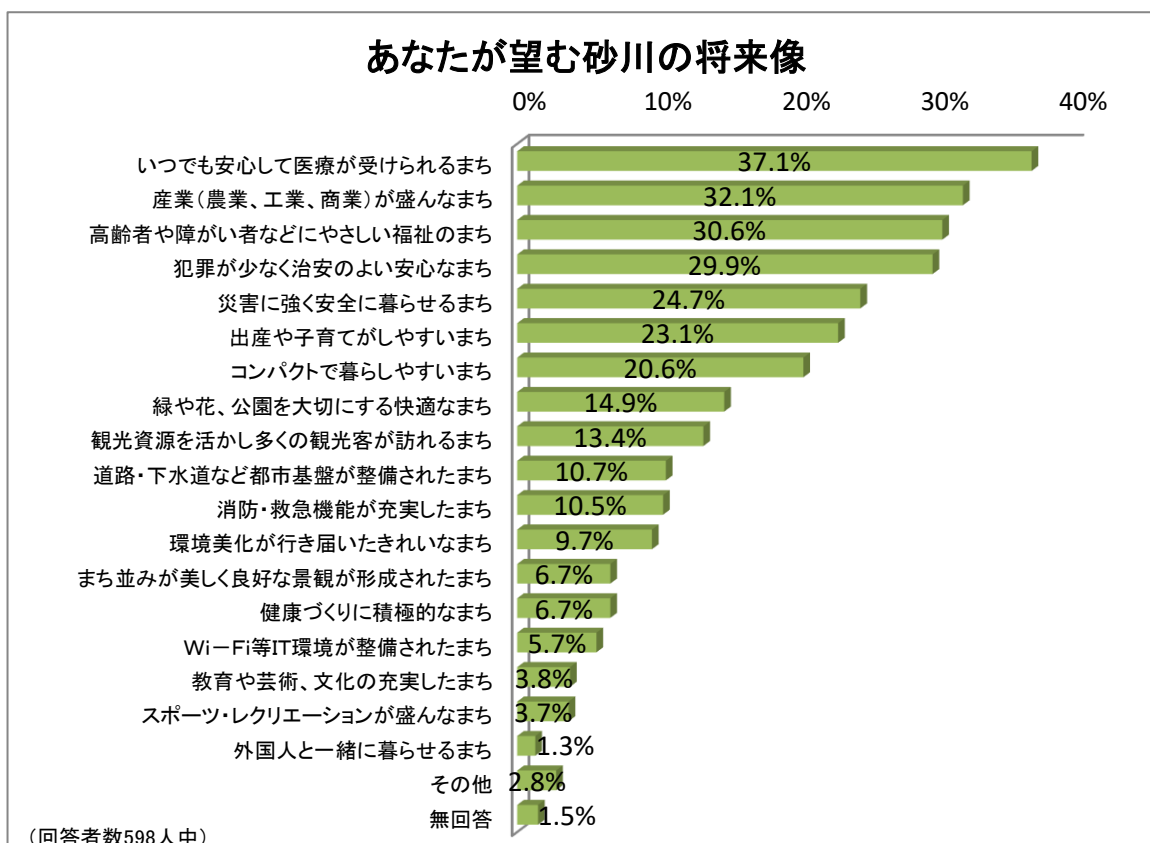
- ・ 安定した介護保険制度の充実 安定した国保制度の充実 安定した後期高齢者医療制度の充実
- ・ 生活の足(車・自転車・セグウェイなど)の充実
- ・ 低額で利用できる老人ホーム等の充実・拡充

- ・町へ出かけるのに歩いてゆくのに所々に固定の長いすがあれば、ゆっくり町並をみながらゆけます
- ・乗り合いタクシーの低底化をお願いしたいです（ワゴン型）ステッキを持つての乗降はとても不安定
- ・一戸建から高齢者も住みやすい、立地、形態のアパート等の整備
- ・生活保護と年金受給者の格差、医療費負担など
- ・核家族化や孤独死が多くなってきているので、近所のお年寄りとふれ合いをもてればいざという時助けることができるかもとは思う

【問 14】あなたは、砂川市がどのようなまちになったらよいと思いますか。

（複数回答・3つまで）

砂川の将来像については「いつでも安心して医療が受けられるまち」（37.1%）が最も高くなっています。次いで「産業（農業、工業、商業）が盛んなまち」（32.1%）、「高齢者や障がい者などにやさしい福祉のまち」（30.6%）、「犯罪が少なく治安のよい安心なまち」（29.9%）、と続き、高齢者などへの支援策や、安全・安心な暮らしのための施策が望まれていることがうかがえます。前回の調査と比較すると、上位4位の順位は変わったものの、上位4位に入っていることは変わっておらず、望む将来像に大きな変化はないことが伺えます。



総合的な結果は以上になりましたが、年代別で、将来望まれるまちの姿に差が出るのか、それぞれの年代ごとに順位をつけました。

総合1位であった「いつでも安心して医療が受けられるまち」は40歳と60歳の世代で1位となっている他、他の年代でも2位から3位を占めています。70歳代で1位となっているのが、「高齢者や障がい者などにやさしい福祉のまち」、30歳未満と30歳代の若年層では「出産や子育てがしやすいまち」が1位と、世代間に差が見られます。

	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
産業(農業、工業、商業)が盛んなまち	11位 12.1	4位 27.3	7位 18.9	1位 34.1	2位 31.2	2位 39.4
観光資源を活かし多くの観光客が訪れるまち	6位 21.2	8位 13.6	9位 9.5	8位 14.6	9位 12.8	9位 13.6
道路・下水道など都市基盤が整備されたまち	11位 12.1	13位 6.8	10位 8.1	9位 11.0	10位 12.0	12位 11.4
Wi-Fi等IT環境が整備されたまち	6位 21.2	10位 11.4	14位 6.8	12位 8.5	15位 4.0	16位 2.1
緑や花、公園を大切に する快適なまち	2位 27.3	7位 15.9	6位 20.3	9位 11.0	7位 14.4	10位 12.7
環境美化が行き届いた きれいなまち	8位 15.2	15位 4.5	17位 4.1	11位 9.8	13位 8.8	11位 12.3
まち並みが美しく良好な 景観が形成されたまち	8位 15.2	10位 11.4	10位 8.1	16位 3.7	14位 5.6	14位 5.9
コンパクトで暮らしやす いまち	13位 9.1	6位 18.2	8位 10.8	6位 22.0	5位 25.6	5位 22.5
消防・救急機能が充実し たまち	14位 6.1	15位 4.5	10位 8.1	13位 7.3	11位 11.2	8位 14.0
災害に強く安全に暮らせ るまち	8位 15.2	5位 22.7	4位 23.0	3位 30.5	3位 30.4	6位 22.0
犯罪が少なく治安のよ い安心なまち	2位 27.3	2位 38.6	1位 41.9	1位 34.1	6位 23.2	4位 27.1
高齢者や障がい者など にやさしい福祉のまち	5位 24.2	8位 13.6	5位 21.6	7位 20.7	3位 30.4	1位 40.7
出産や子育てがしやす いまち	1位 39.4	1位 50.0	3位 31.1	5位 28.0	7位 14.4	7位 16.1
いつでも安心して医療が 受けられるまち	2位 27.3	3位 36.4	1位 41.9	3位 30.5	1位 39.2	3位 39.0
健康づくりに積極的なま ち	18位 0.0	17位 0.0	10位 8.1	13位 7.3	12位 9.6	13位 6.8
教育や芸術、文化の充 実したまち	18位 0.0	12位 9.1	17位 4.1	19位 1.2	18位 0.8	14位 5.9

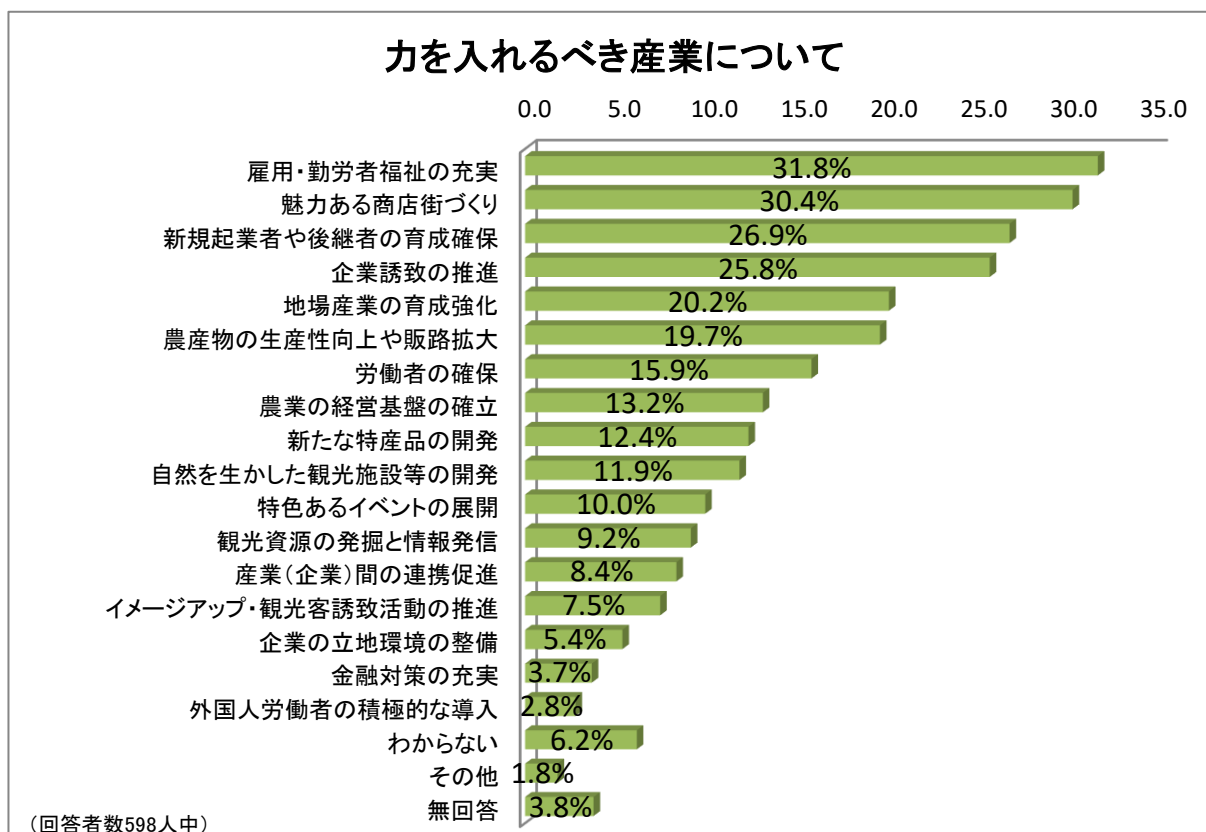
スポーツ・レクリエーションが盛んなまち	15位	3.0	13位	6.8	14位	6.8	15位	4.9	17位	3.2	16位	2.1
外国人と一緒に暮らせるまち	15位	3.0	17位	0.0	19位	1.4	17位	2.4	18位	0.8	19位	1.3
その他	15位	3.0	17位	0.0	16位	5.4	17位	2.4	15位	4.0	16位	2.1

【「その他」の記述】

- ・ 予約日に診察を早くしてほしい
- ・ 子どもの教育がきちんと受けられる町
- ・ 若い人達が住みやすいまちづくり（住みたい環境・労働）
- ・ 障害を持っていても働けるところがある
- ・ 安心して介護が受けられるまち
- ・ 年金で生活できる保障やサービスの充実がほしい
- ・ 飲酒運転のないまち
- ・ 母と子を支えていくまち
- ・ 人がやさしい町になってほしい
- ・ 子どもが安心してのびのび暮らせて遊ぶことができるまち
- ・ 子ども達が幸せなまち
- ・ 冬の除雪が大変

【問 15】砂川の産業を振興させるには、今後、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。
(複数回答・3つまで)

「雇用・勤労者福祉の充実」(31.8%)が最も高く、「魅力ある商店街づくり」(30.4%)、「新規起業家や後継者の育成確保」(26.9%)と続きます。前回の調査と比べると「魅力ある商店街づくり」が28.5%から30.4%に増えており、「雇用・勤労者福祉の充実」は23.9%から31.8%に増えている(前回は「雇用の充実」)ことから、商店街の活性化と雇用の創出に対する期待が引き続き高いことが伺えます。

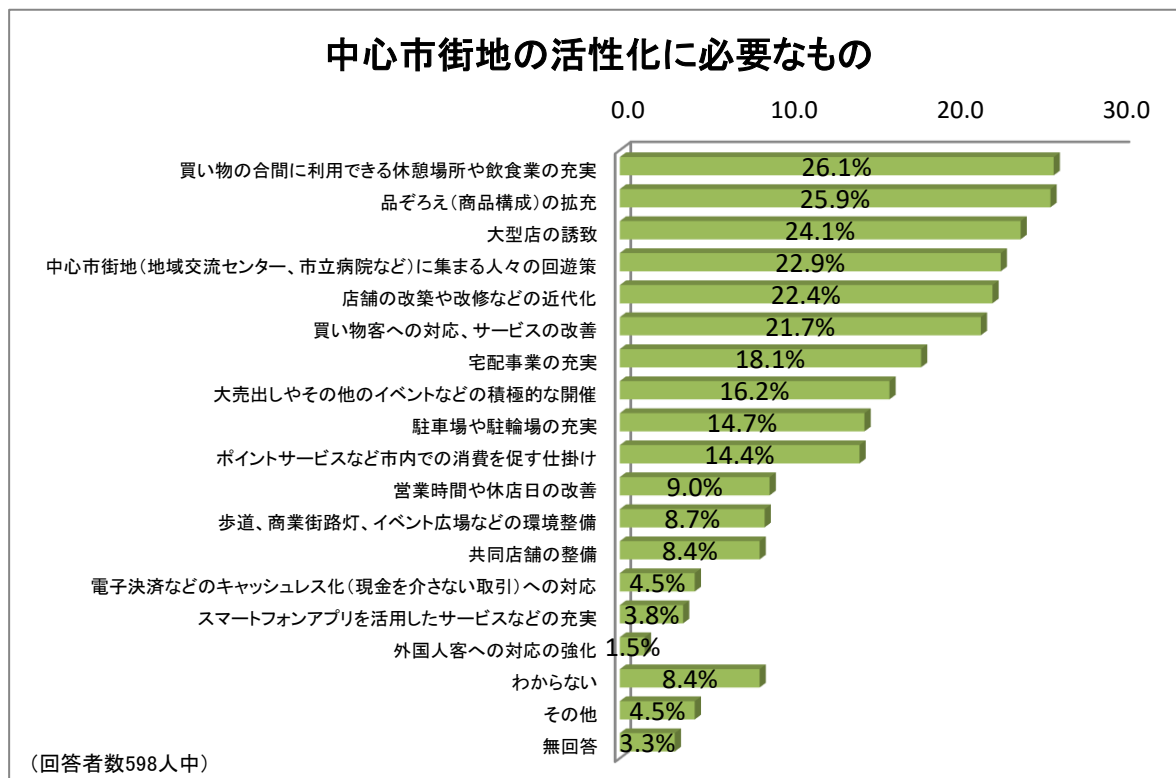


【「その他」の記述】

- ・高齢者の雇用の場や機会をつくる(健康で安心して暮らせるまちにしてほしい)
- ・短期・中・長期の事業を誘致して、景気の向上を
- ・教育(特に高校)
- ・スイートロードを始め、「食」をテーマに札幌からのお客様をさらにメディアPRで誘客させる
- ・固定資産税軽減
- ・流通の拠点を目指す

【問 16-1】あなたは、中心市街地を活性化させ、砂川市内における購買力を高める上で、今後、何が必要とお考えですか。（複数回答・3つまで）

中心市街地の活性化については、「買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実」(26.1%)が最も高く、「品ぞろえ（商品構成）の拡充」(25.9%)「大型店の誘致」(24.1%)と続きます。前回の調査と比較すると、「買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実」は17.5%から26.1%に増加しています。回遊策による活性化よりも、品ぞろえの充実や飲食店等商業エリアとしての機能の強化がより求められていることが伺えます。



【「その他」の記述】

- ・砂川市民だけでは購買力に限界があるので他市民からお金を落とさせるように農産物の加工品（地物）の強化、お菓子、c a f e のインスタ映え
- ・新しい店や人の目を引くものをやったほうがいい
- ・後継者不足や資金難の商店の集約を積極的に行い、シャッター街の解消・町の美化を進めることや、割増しの金券販売を続ける（今年度程度）ことで地消をはかる。
- ・ちらばっている店を中心部に集め買い物の利便を上げる
- ・若年層～就業世代が魅力的と感じ、足を運びたくなるサービス・商品構成・イベント開催
- ・駅直結で雨天時でも買い物がしやすければいいのでは。朝市は限定でお得に買えるものが充実しているとわかりやすいアピール
- ・空き店舗の有効活用（国道12号線沿い）
- ・店主の意識改革
- ・小型無料周遊バスなど

- ・公共交通の利便性
- ・中心だけ充実しても交通が不便で利用しない もっとバスなどを増やしてほしい
- ・プレミアム商品券発売時に時点の販促イベントを開催するなど積極的な活用を図る。2000 セットを増やすとか商品券の一部を生鮮食品以外にしか使えないなどもう少し波及効果を与えられるようにする

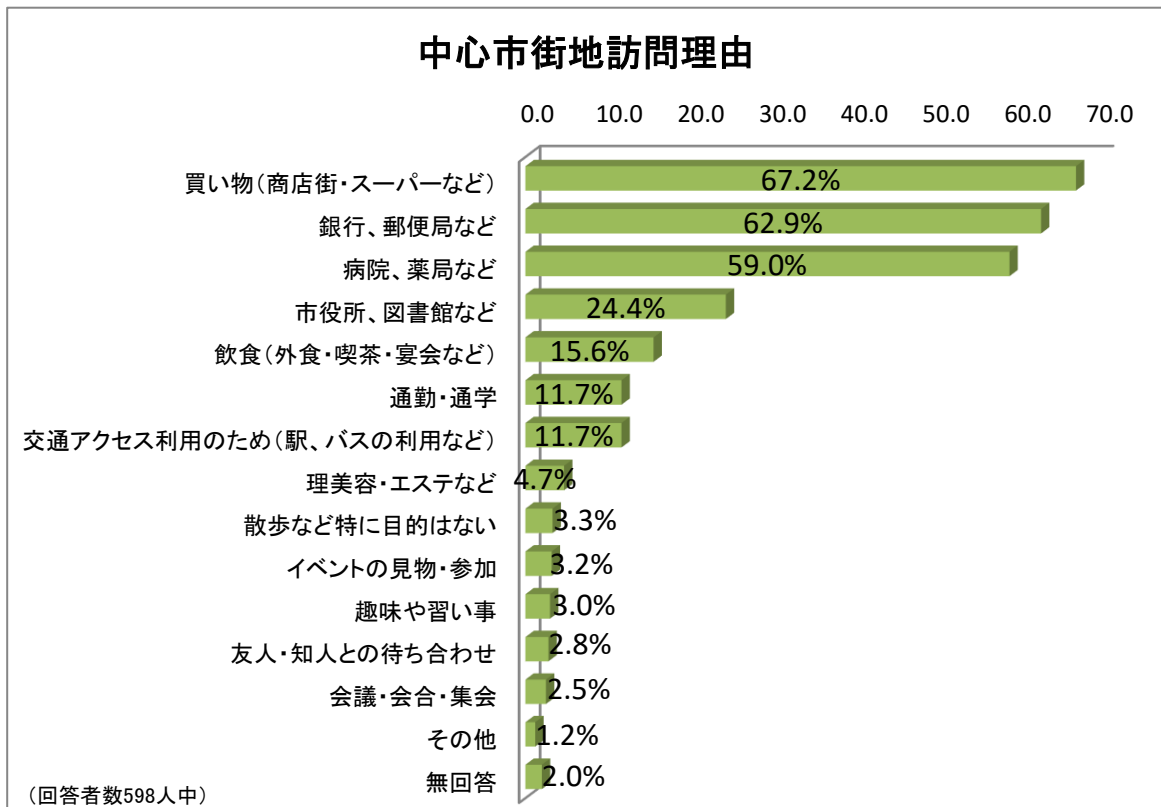
【問 16-1】で3.「品ぞろえ（商品構成）の拡充」、11.「買い物のかげに利用できる休憩場所や飲食業の充実」、12.「中心市街地（地域交流センター、市立病院など）に集まる人々の回遊策」と答えた方の具体的回答

- ・ファーストフード店（マック、ミスタードーナツなど）、カフェ（スターバックス、ドトールなど）などの誘致
- ・（駐車場の広い）ファミリーレストラン
- ・ショッピングモール
- ・ゲームセンター
- ・若い人が買いたい服がないので、滝川へ行ってしまふ。遊ぶ場がない
- ・買い物をしている途中、休むところがない（座る所＝椅子など）
- ・1つの建物の中（デパート）に食品、家電、くつ屋、服屋、薬やなどが入っていてほしいの日用品はそゝで買えると良い
- ・スイートロードがあるのに車でなければ買い物出来ないので、夏場は自転車のレンタルでスタンプリーなどで市民や観光客が市街地に来てもらうようにする
- ・点（地域交流センター・市立病院）などと点を結び活気ある同線の創設
- ・店舗の集中化
- ・12号線はシャッター街なので、それらに砂川の店を集める。（統一感をもたせて、大型駐車場の充実）（ドーナツ、ピザ、などのファーストフード、ファミレス的なもの）
- ・専門店化、スマートインターチェンジを利用して北海道の特産品のアンテナショップで集約（街）若い人達を市・内外から呼び地域のブランド品の仕入、販売の手助けをする
- ・学生、高齢者の方が気軽に休めることのできる憩いの場、例えば「ゆう」などの場所をもう一つ増やす
- ・若者が集まれる、インスタ映えした飲食店やカフェ等
- ・休日に小さな子供連れで、砂川にきても食べる所が少なく、買い物している間、子供を遊ばせる所があれば夫婦交代でゆっくり見て回れると思う

【問 16-2】あなたが、中心市街地を訪れる主な目的について伺います。

(複数回答・3つまで)

中心市街地の訪問理由については、「買い物(商店街・スーパーなど)」(67.2%)が最も高く、続いて「銀行、郵便局など」(62.9%)「病院、薬局など」(59.0%)が続きます。



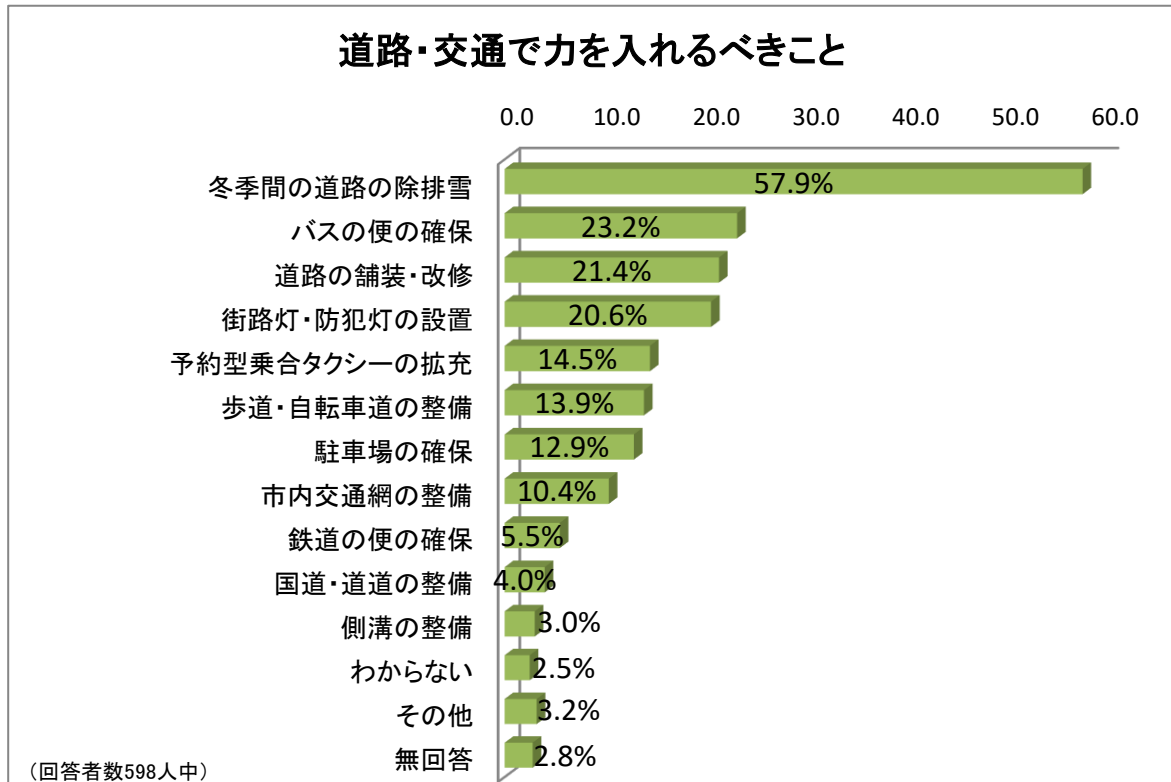
【「その他」の記述】

- ・ ガソリン給油
- ・ 実家があるため
- ・ 市街地へ行くことがない
- ・ 滝川へ行く(便利)(2)

【問 17】 道路や交通について、今後、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。

(複数回答・2つまで)

「冬季間の道路の除排雪」(57.9%)が最も高く、他の項目との差が目立ちます。さらに「バスの便の確保」(23.2%)、「道路の舗装・改修」(21.4%)と続きます。前回の調査と比較すると「冬季間の道路の除排雪」(43.7%)「バスの便の確保」(18.0%)は前回と同様1、2位であり、引き続き期待が高いことが伺えます。



【「その他」の記述】

- ・ タクシー利用の補助
- ・ (乗り合いタクシー) 帰り予定時間が不定なので予約しづらい、ワゴン型の乗降が不便
- ・ 中心市街地の路上駐車対策
- ・ 道路の補修
- ・ 自転車専用道の拡充
- ・ 砂川駅内にエスカレーター／エレベーターの設置
- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 通学路の安全確保
- ・ 流雪溝
- ・ 豊栄地区の排水状況の見直し

【問 18】 今後 10 年間の目標として「砂川市は、こんなまちをめざしてほしい」というものがあれば、あなたのお考えとその理由もお書きください。(自由回答)

この問いは、市民の方の砂川市への思いや、まちづくりに対する考えをお聞きしました。

239 名から 240 件のご意見がありましたが、傾向としては「まちづくり全般」が最も多く、次いで「医療・保健・福祉」「産業振興」の分野が続いて多くなっています。

「まちづくり全般」については、いろいろな面で安心して暮らせるまちにしてほしい、という意見が多くみられたほか、「医療・保健・福祉」については、医療など高齢者に対する支援だけでなく、子育て支援の充実などの意見が多くみられました。

詳細については別冊①になります。

意見の分野別件数

分野	件数
まちづくり全般	67
市民参画・コミュニティ・行政運営	11
教育・文化・スポーツ	4
生活環境・防災	16
医療・保健・福祉	52
産業振興	52
都市基盤	31
その他	7
計	240

【問 19】 市民参加に関する項目について、それぞれどのように考えていますか。

(1つ選択)

「まちづくりに関心がある」という設問では、「そう思う」が 15.7%、「やや思う」が 37.1%となっており、「そう思わない」が 4.5%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 50.0%から 52.8%に増加し、「そう思わない」は 7.0%から 4.5%へ減少しています。

「市が市民に対して行う情報提供が十分である」という設問では、「そう思う」が 5.9%、「やや思う」が 26.4%となっており、「そう思わない」が 13.0%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 31.1%から 32.3%に増加している一方「そう思わない」も 12.9%から 13.0%に微増しています。

「市は市民の意見を聴く機会を十分設けている」という設問では、「そう思う」が 3.8%、「やや思う」が 20.7%となっており、「そう思わない」が 15.9%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 14.7%から 24.5%に増加しており、「そう思わない」は 20.1%から 15.9%に減少しています。

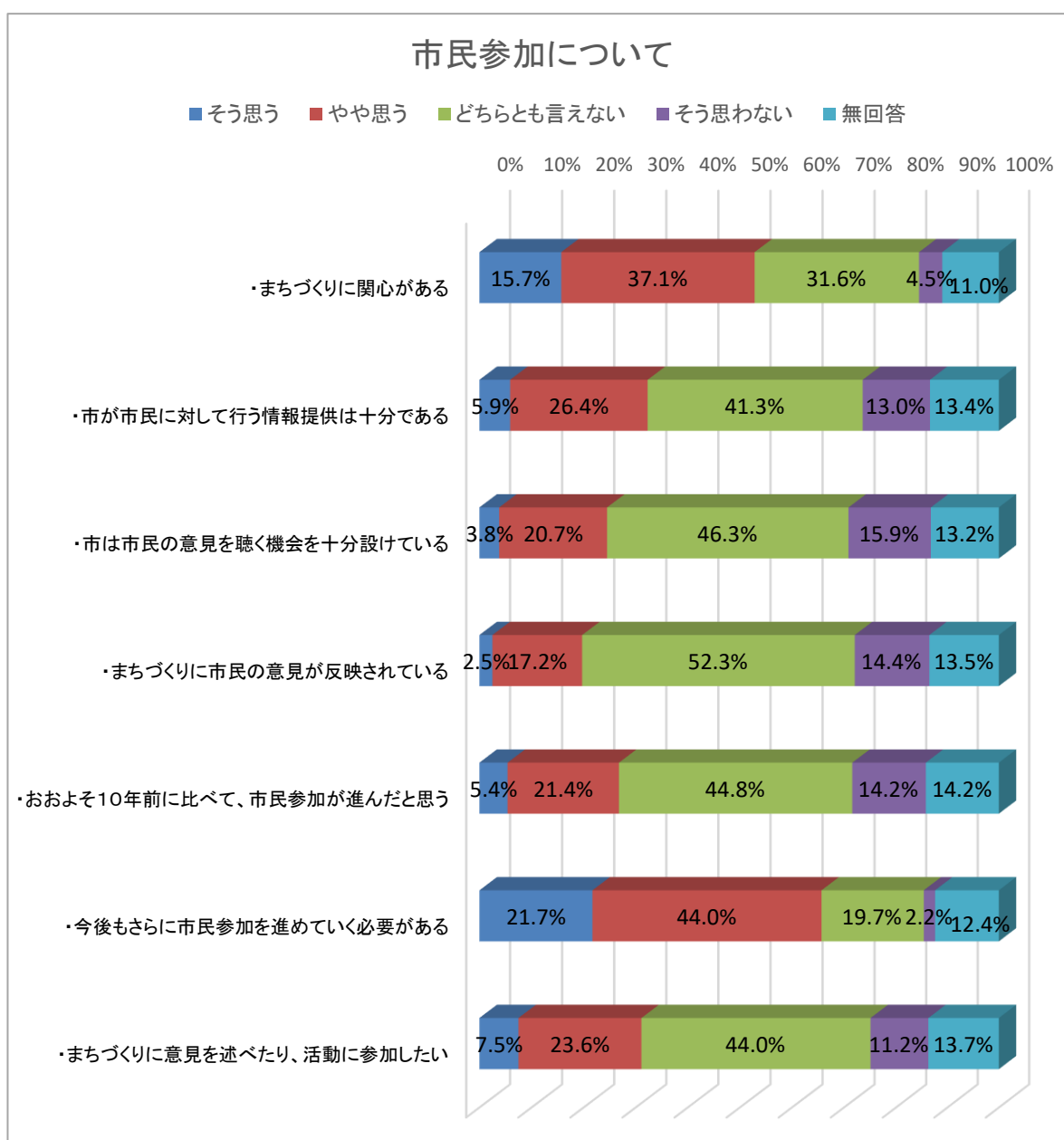
「まちづくりに市民の意見が反映されている」という設問では、「そう思う」が 2.5%、「やや思う」が 17.2%となっており、「そう思わない」が 14.4%となっています。前回の調査と比較すると、

「そう思う」「やや思う」の合計が 15.2%から 19.7%に増加しており、一方「そう思わない」は 17.2%から 14.4%に減少しています。

「おおよそ 10 年前に比べて市民参加が進んだと思う」という設問では、「そう思う」が 5.4%、「やや思う」が 21.4%となっており、「そう思わない」が 14.2%となっています。

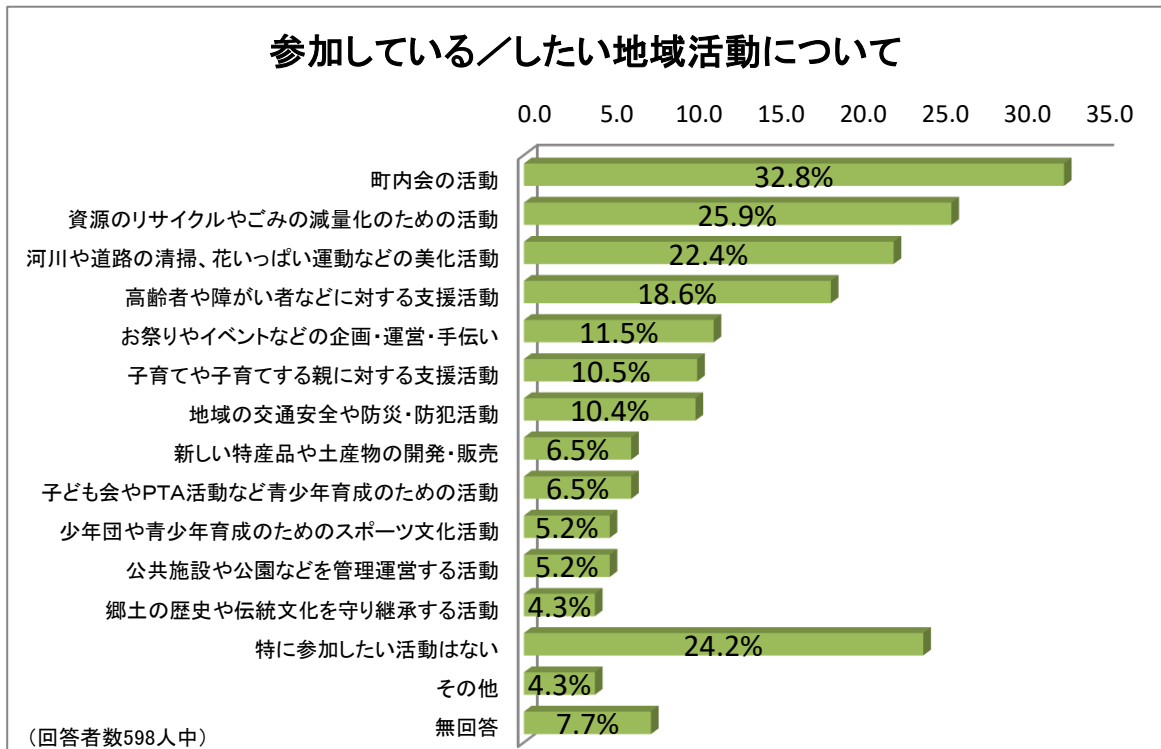
「今後もさらに市民参加を進めていく必要がある」という設問では、「そう思う」が 21.7%、「やや思う」が 44.0%となっており、「そう思わない」が 2.2%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 59.7%から 65.7%に増加しており、一方「そう思わない」は 3.0%から 2.2%に減少しています。

「まちづくりに意見を述べたり、活動に参加したい」という設問では、「そう思う」が 7.5%、「やや思う」が 23.6%となっており、「そう思わない」が 11.2%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 31.2%から 31.1%に減少しており、一方「そう思わない」は前回と同じ 11.2%で横ばいとなっています。



【問 20】あなたはどのような地域活動に参加していますか。また、参加したいと思いますか。
(複数回答・あてはまるものすべて選択)

「町内会の活動」が 32.8%と最も高く、「資源のリサイクルやごみの減量化のための活動」(25.9%)、「河川等の清掃、花いっぱい運動などの美化活動」(22.4%)、と続きます。前回の調査と比較しても、上位3つのポイントは前回より減少していますが、順位は変わっていません。



【「その他」の記述】

- ・ 仕事や時間がなく参加できない
- ・ 身体的な問題（腰痛、足が不自由、高齢など）で参加できない
- ・ 砂川にお客様を誘客する仕事 メディアへの情報提供、取材依頼等
- ・ 現役世代のスポーツを盛んにする活動

【問 21】今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見などありましたらご記入ください。
(自由回答)

この問いは、市民の方の砂川市への思いや、まちづくりに対する考えをお聞きしました。

161名から191件のご意見がありましたが、傾向としては「都市基盤」が最も多く、次いで「産業振興」「市民参画・コミュニティ・行政運営」の分野が続いて多くなっています。

「都市基盤」については、交通の便の充実や除雪の充実、自然などの景観への意見が多くみられたほか、「産業振興」については商業（施設）の充実を望む声が多くみられました。また、「市民参画・コミュニティ・行政運営」については公聴会への参加などを望む声が見られました。

詳細については別冊②になります。

意見の分野別件数

分野	件数
まちづくり全般	20
市民参画・コミュニティ・行政運営	25
教育・文化・スポーツ	18
生活環境・防災	8
医療・保健・福祉	22
産業振興	32
都市基盤	55
その他	11
計	191